KAWAI

ご使用前の準備

演奏ガイド

様々な機能を楽しむ

演奏を録音再生する

様々な設定を操作する

付録

DIGITAL PIANO
CA17
取扱説明書

JA

このたびはKAWAIデジタルピアノCA17をお買い求めいただきまして、誠にありがとうございます。

本楽器を存分にお楽しみいただき、末永くご愛用いただくためにも、

この取扱説明書をよくお読みいただき、大切に保管くださいますようお願い致します。

はじめに

取扱説明書について

はじめに、取扱説明書（本書）の「ご使用前の準備」（P.8）からお読みください。各部の名称と機能や、電源コードの接続や電源の入れ方を説明しています。

取扱説明書では、CA17 をすぐお使いできるよう基本的な演奏ガイドから、様々な機能を使いこなすための操作まで説明しています。また付録には CA17 の組立方法などの資料がございます。

表記について

この取扱説明書では操作方法を簡潔に説明するために、［　］で囲まれた文字はボタン名を表し、［SOUND SELECT］ボタン、のように表記します。

本製品の特徴

電子ピアノ最高クラスのタッチ感を備えた『木製鍵盤 RM3 Grand Ⅱ / アイボリータッチ』

電子ピアノの中で群を抜く鍵盤の長さと、グランドピアノと同様のアクション（シーソー構造）を備えた木製鍵盤により、グランドピアノに近い弾き心地で演奏することができます。さらに、優れた吸湿性と象牙の風合い、色を備えた象牙調仕上げ（アイボリータッチ）鍵盤により、指が滑りにくく心地よいタッチ感が得られます。また、弱く弾いたときに感じられるアコースティックピアノ特有のクリック感を実現するレットオフフィールも搭載、グランドピアノがもつ細やかなタッチの感触まで余すことなく再現します。

カワイが誇るフルコンサートグランドピアノ SK-EX、EX のピアノ音を搭載

CA17 にはカワイが誇る最高のグランドピアノシリーズである Shigeru Kawai から、コンサートグランドピアノ SK-EX を新たに搭載しました。最新の「HI-XL 音源」は、弱打から強打までのスムーズな音色変化、和音の濁りが少なく減衰に伸びのあるリアルなピアノ音を実現、そのクオリティを余すことなく表現します。また、世界最高峰のピアノコンクールであるショパン国際ピアノコンクールで実際に使用したカワイコンサートグランドピアノ EX も搭載、合計 2 モデルのグランドピアノ音を内蔵しています。これらのピアノレコーディングにおいては、ピアノ作りに精通したカワイだからできる最良のピアノ選定、最高レベルの調律師による秀逸のピアノ調整を行っています。それらのピアノを 88 個の鍵盤一つ一つ丁寧に、究極のこだわりを持って録音することで、妥協のないピアノサウンドに仕上がりました。
また、グランドピアノにおいて、弦、ダンパー、フレーム、響板等が振動、共振することで発生する複雑で豊かな響きも再現します。
ピアノの音をまるで調律師のように調整できる「コンサートチューナー」機能も搭載。お好みのピアノの状態を作り出すことができます。

音で操作をわかりやすくサポート

CA17 は、音や音声で操作をサポートする便利な「サウンドプレビュー」、「音声アシスト」を搭載。
音色選択や音の設定を変更するときに、サンプル音や音声により音色や設定名称を確認しながら操作することができます。

付属品（お確かめください）

- ☐ 保証書
- ☑ 取扱説明書（本書）
- ☐ カワイデジタルピアノ　ユーザー登録のご案内
- ☐ 音楽教室のご案内
- ☐ 楽譜集のご案内
- ☐ コンサートマジック曲集　払込取扱票
- ☐ クラシカルピアノコレクション（楽譜集）
- ☐ 高低自在椅子
- ☐ 電源コード
- ☐ PS-154（AC アダプター）
- ☐ ヘッドホン
- ☐ ヘッドホンフック
- ☐ CA17 操作ガイド
- ☐ スタンド組立説明書

安全上のご注意

ご使用の前に、必ずこの「安全上のご注意」をお読みください。

ここに示した注意事項は、安全に関する重大な内容を記載していますので必ずお守りください。お子様がご使用になる場合は、保護者の方がお子様に注意事項を徹底するようお願いいたします。

■警告と注意、記号表示について

警告と注意、記号表示には以下のような意味が有ります。

警告 この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容が記載されています。

注意 この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負ったり、物的損害の発生が想定される内容が記載されています。

△記号は注意（用心してほしいこと）を意味します。

⃠ 記号は禁止（行ってはいけないこと）を意味します。

● 記号は強制（必ず実行してほしいこと）を意味します。

⚠ 警告

電源は必ず AC100V を使う

電圧の異なる電源を使用しないでください。発火の恐れがあります。

付属の電源コードは本機でのみ使用する

付属の電源コード以外を本機で使用しないでください。付属の電源コードを他の機器で使用しないでください。

電源コードは無理に曲げたり、重いものを乗せたり、熱いものを近づけたり、傷つけたりしない

コードが破損し、火災、感電、ショートの原因になります。

本機及び付属の AC アダプターを分解、修理、改造しない

水がかかる場所での使用や、水に濡らす（つける、かける、こぼす）等はしない

漏電によって、感電や発火の原因になります。

水に濡れた手で、電源プラグを抜き差ししない

感電の原因になります。

異常が起こった場合、故障した場合は即座に電源スイッチを切り、コンセントからプラグを抜く

不安定な場所に置かない

怪我や破損の恐れがあります。

本機の内部に異物を入れないようにする

水、針、ヘアピン等が入ると、故障やショートの原因になります。

ヘッドホンは大音量で長時間使用しない

聴力低下の原因になる恐れがあります。

本機を落としたり、強い衝撃を加えたりしない

怪我および破損の恐れがあります。

⚠ 注意

電源プラグを抜くときは、必ずプラグ部分を持って抜く

コードを引っ張るとコードが破損し、火災、感電、ショートの原因になります。

長時間使用しない時は　必ず電源プラグを抜く

落雷時に火災の原因になります。

使用禁止

本機を次のような所では使用しない

- **窓際など直射日光の当たる場所**
- **暖房器具のそばなど極端に温度の高い場所**
- **戸外など極端に温度の低い場所**
- **極端に湿度の高い場所**
- **砂やホコリの多い場所**
- **振動の多い場所**

故障の原因になります。

コード類を接続するときは、各機器の電源を切って行う

本機や接続機器の故障の原因になります。

電源は必ず付属の AC アダプターを使用する

付属の AC アダプターは本機専用ですので他の機器で使用しないでください。

AC アダプターに布団をかぶせたり、こたつの中で使用しない

本体の組立作業は必ず本書の「CA17 の組み立て方（P.45）」を読んで行う
また、椅子の組立作業は必ず椅子に付属する組立説明書を読んで行う

正しく組み立てないと落下、破損、怪我のおそれがあります。

また、ネジなどはゆるみを定期的に点検し、必要に応じて締めなおしてください。

組立作業や移動作業は必ず 2 人で行い、取り扱いに十分注意する

重量物のため、本機を移動するときは水平に持ち上げ、引きずらないようにしてください。

また、手をはさんだり、足の上に落とさないよう十分注意してください。

鍵盤蓋で指などをはさまないよう注意する

鍵盤蓋はゆっくり閉めてください。勢いよく閉めると指をはさみ、けがの原因になります。

本機の上に乗ったり、重いものを乗せたりしない

変形したり、倒れる恐れがあり、故障やけがの原因になります。

椅子は次のように使用しない

- **椅子を不安定な場所に置かない**
- **椅子で遊んだり、踏み台にしたりしない**
- **椅子には 2 人以上で座らない**
- **椅子の高さ調節は、椅子から降りて行う（調節機能付きの場合）**

椅子が倒れたり、指をはさむ恐れがあり、けがの原因になります。

ベンジンやシンナーで本機を拭かない

色落ちや、変形の原因になります。お手入れについては下の「お手入れについて」を参考にしてください。

お手入れについて

本体	乾いた柔らかい布で拭いてください。
ペダル	表面が汚れた場合、乾いた食器洗い用スポンジで拭くと綺麗になります。布ではかえって曇ってしまう場合があります（ゴールドのペダルのみ）。サビ落し用の磨き剤ややすり等は使用しないでください。

保証書について

本製品をお買い求めの際、販売店で必ず保証書の手続きを行ってください。保証書に販売店の印やお買い上げ日の記入が無い場合は、保証期間中でも修理が有償になることがあります。

保証書は、本取扱説明書と共に大切に保管ください。

修理について

万一異常がありましたら直ちに電源スイッチを切り、本機の電源プラグを抜いて、購入店または弊社へご連絡ください。弊社連絡先は取扱説明書の裏表紙に記載してあります。

目次

* CA17 の MIDI に関する詳細情報、および操作に関する説明については下記のカワイホームページより PDF マニュアルをダウンロードしてご覧ください。
http://www.kawai.co.jp

各部の機能と名称

①［POWER（パワー）］スイッチ

電源をオン / オフするスイッチです。ご使用後は必ず電源を切ってください。

②［MASTER VOLUME（マスター ボリューム）］スライダー

内蔵スピーカーやヘッドホンから出力される音量を調整します。

③［CONCERT MAGIC（コンサート マジック）］ボタン

鍵盤を弾くタイミングと強さに応じて内蔵曲を再生することができます。

④［LESSON（レッスン）］ボタン

練習曲を再生することができます。

⑤［PLAY / STOP（プレイ ストップ）］ボタン

本製品に内蔵している曲やお客様の演奏を録音したものなどを再生 / 停止する際に使用します。

⑥［REC（レック）］ボタン

演奏を録音する際などに使用します。

⑦［METRONOME（メトロノーム）］ボタン

メトロノームのオン/オフやテンポ/拍子/音量を設定します。

⑧［SOUND SELECT（サウンド セレクト）］ボタン

音色を選択するボタンです。

⑨［PHONES（ホーンズ）］端子

ヘッドホンを接続する端子です。ヘッドホンは 2 つまで接続できます。

⑩［PEDAL（ペダル）］端子

ペダルユニットから出ているペダルケーブルを接続する端子です。

⑪［DC IN（ディーシー イン）］端子

AC アダプターを接続する端子です。

⑫［USB TO HOST（ユーエスビー トゥー ホスト）］端子

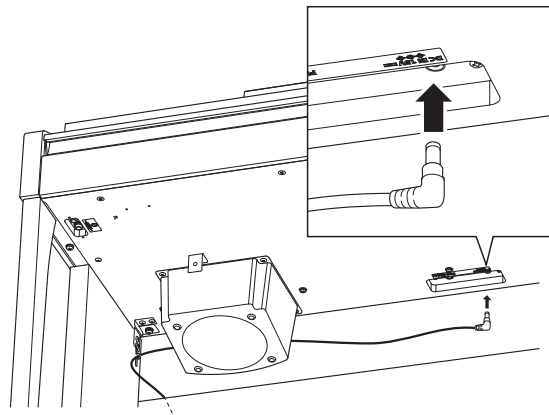
市販の USB ケーブルでコンピュータと接続すると、MIDI デバイスとして認識され MIDI メッセージを送受信することができます。

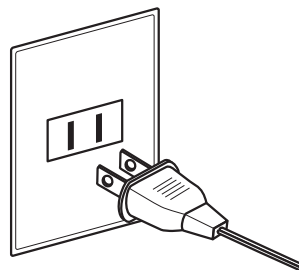
⑬［MIDI IN / OUT（ミディ イン アウト）］端子

MIDI 規格に対応している楽器と接続する端子です。

電源を入れる

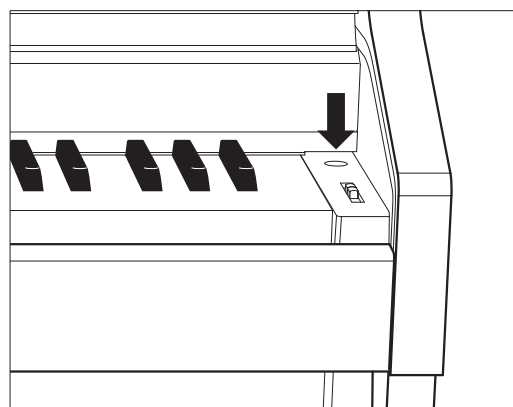
1. AC アダプターを本体に接続する

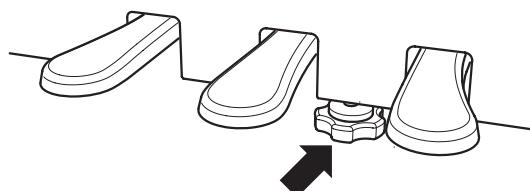
付属の AC アダプターを、本体底面に差し込みます。

2. 電源コードをコンセントに接続する

電源コードを AC100V のコンセントに差し込みます。

3. 電源を入れる

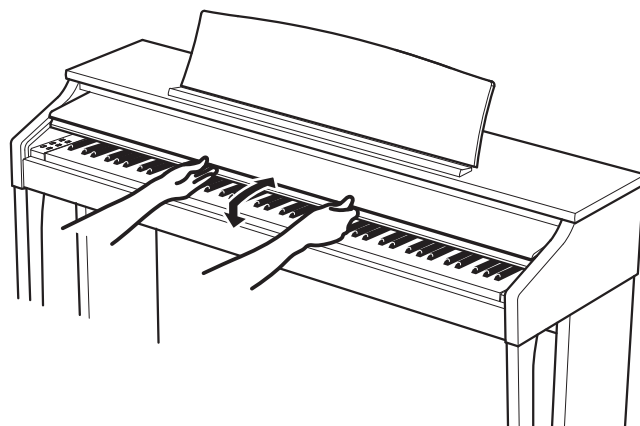
［POWER］スイッチを押して電源をオンにします。
［POWER］スイッチを押すと［SOUND SELECT］が点灯します。

電源を切るときは、もう一度［POWER］スイッチを押します。

*［POWER］スイッチは少し長めに押してください。

アジャスターの調整

ペダル土台にはアジャスターがついています。アジャスターが浮いた状態で使用すると、ペダル土台を破損する恐れがあります。必ずアジャスターが床についた状態でご使用ください。

鍵盤蓋を開ける / 閉める

鍵盤蓋を開ける

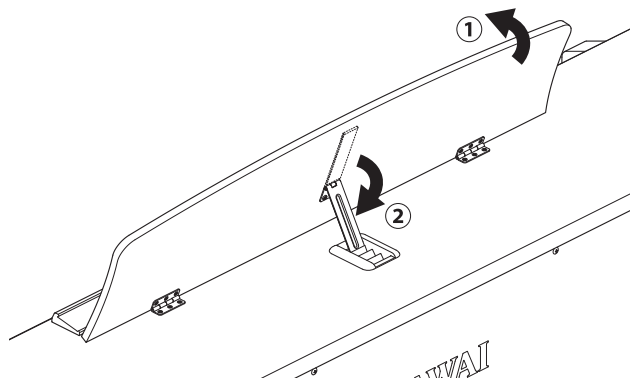
取っ手を両手で軽く持ち上げ、奥に押し込みます。

鍵盤蓋を閉める

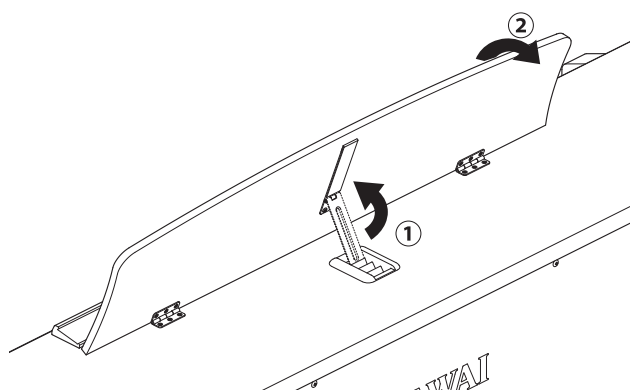
取っ手を両手でゆっくりと手前に引き、下へ静かに降ろします。

* 鍵盤蓋はゆっくり閉めてください。勢いよく閉めると指をはさみ、けがの原因になります。

譜面立てを利用する

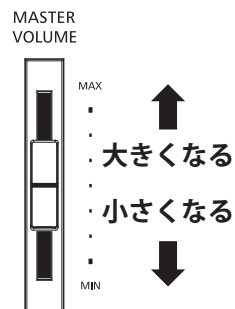
譜面立てを起こす / 角度を調整する

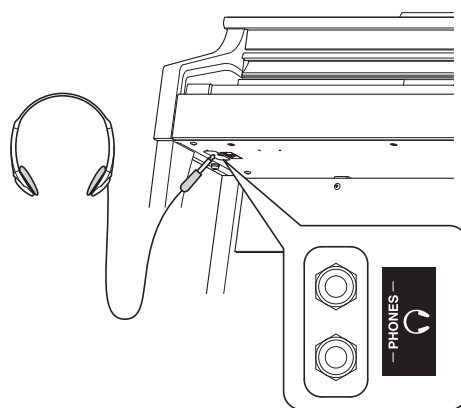
① 譜面台を手前に起こします。
② 譜面台金具を金具ホルダーのお好みの場所に設置します。
（角度は 3 段階に調整することができます。）

譜面立てを倒す

① 金具を起こします。
② 譜面立てをゆっくりと倒します。

音量を調整する / ヘッドホンを使う

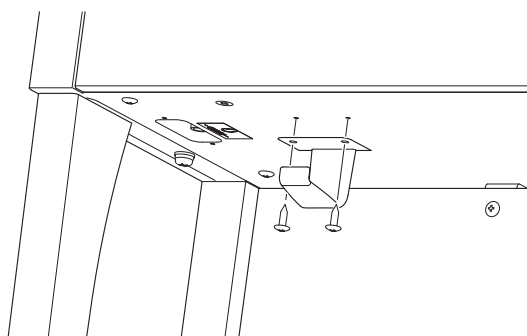
音量を調整する

本体右にある［MASTER VOLUME］スライダーで音量を調整します。上側に動かすと音量が大きくなり、下側に動かすと小さくなります。

実際に鍵盤を弾いて音を鳴らしながら、音量を調節してください。

ヘッドホンを使う

ヘッドホンを本体底面のジャックパネルの［PHONES］端子に差し込みます。ヘッドホンを接続すると、本体スピーカーからは音が出なくなります。

ヘッドホンフックを使う

ヘッドホンを使わないときは、ヘッドホンフックにヘッドホンをかけておくことができます。

ヘッドホンフックを使用する場合は図のように取り付けてください。

操作ガイド

CA17 では、操作パネルのボタンを押しながら鍵盤を押すことで様々な設定を行うことができます。

この項目では、設定の選択方法を各ボタンごとに示してあります。また、音や音声で操作をサポートする便利な「サウンドプレビュー」、「音声アシスト」についても説明します。

* P.16 参照 * P.18 参照 * P.30 参照

音の違いを聴き比べながら設定する（サウンドプレビュー）

サウンドプレビューは、音色選択や音の設定を変更したときにそのサンプル音を発音し、耳で音の変化を確認することができる機能です。

［SOUND SELECT］ボタンを押しながら鍵盤を押すと、鍵盤に割り当てられている音色や設定のサンプル音を発音し、同時に選ばれた設定を確定します。

* サウンドプレビューは［SOUND SELECT］ボタンを押して設定する設定にのみ対応しています。
* サウンドプレビューの音量を調整することができます。P.38 をご参照ください。

例：ピアノの音を聴き比べてみよう！

CA17 には 8 つのピアノの音が搭載されています。
お気に入りのピアノを選ぶように、サウンドプレビューを使ってピアノの音を聴き比べながら選んでみましょう。

音声読み上げでらくらくスムーズに操作（音声アシスト）

音声アシストは、音色名称や設定名称を音声で読み上げ、CA17 の操作のサポートをする機能です。

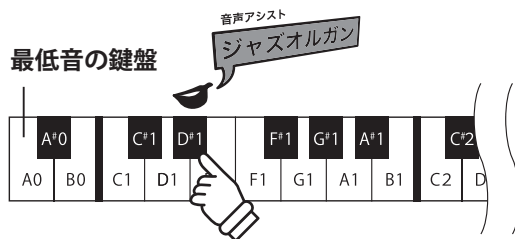
* 音声アシストはボタンと鍵盤による設定にのみ対応しています。ボタンのみの操作には対応していません。
* 音声アシストのオン / オフを切りかえることができます。P.38 をご参照ください。

音声アシストモードに入る

操作パネルの各ボタンを長押しすると音声アシストモードに入ります。「音声アシストモード」というガイド音声が鳴り、長押ししたボタンのランプが素早く点滅します。

SOUND SELECT
音声アシスト
音声アシストモード
長押し

設定を変更する

音声アシストモードに入ると、操作パネルのボタンから手をはなし、鍵盤だけで操作をする事ができます。鍵盤を押すとサウンドプレビューを発音した後に、その鍵盤に割り当てられている設定名称のガイド音声が発話されます。お好みの設定を選びます。

設定を保存またはキャンセルする

操作パネルの点滅しているボタンを押すと、設定を確定して音声アシストモードを終了します。それ以外のボタンを押すと設定をキャンセルして音声アシストモードを終了します。

* イラストは［SOUND SELECT］ボタンの場合です。

設定をキャンセルする

設定を確定する

メトロノーム * P.20 参照

コンサートマジック * P.26 参照

* 音声アシストモードでは、「ソング 1、ソング 2、…」と発話します。

セッティング

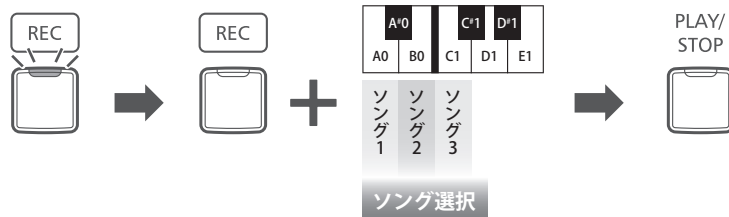
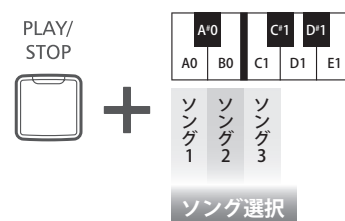
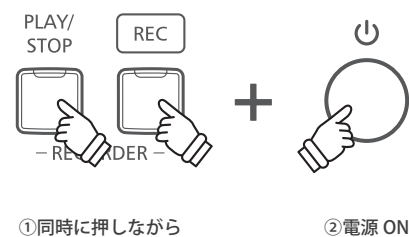
* P.31 参照

* PDF マニュアル参照

レッスン

左	右	両手
1 回押すと左手パートのみ	2 回押すと右手パートのみ	3 回押すと両手パートにもどる

* 事前に練習曲を選択しておく必要があります。

レコーダー

スタートアップセッティング

* P.37 参照

REC

SOUND SELECT

3 秒間押す

演奏ガイド

いろいろな音色を楽しむ

CA17には19の音が内蔵されていますので、さまざまな音楽に合わせた音で演奏を楽しむことができます。この内蔵されている音を「音色」といいます。音色の選び方は、次の2通りあります。電源ON時はSKコンサートグランドが選ばれています。

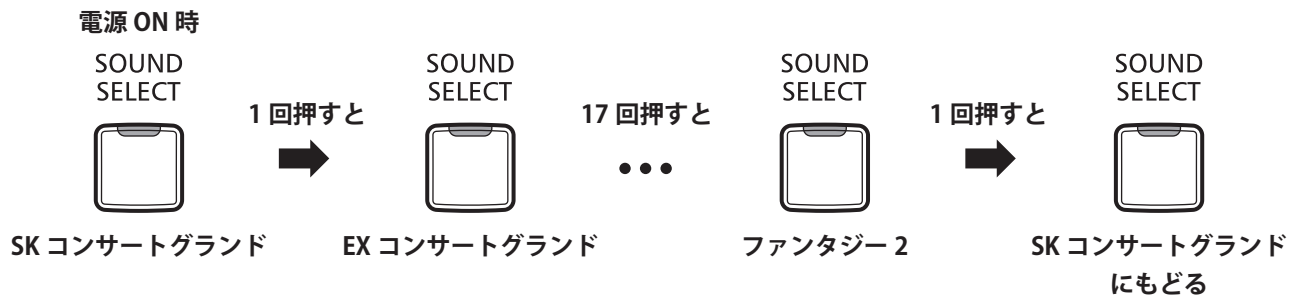
音色の選び方1（P.12～P.13　操作ガイド「サウンド」参照）

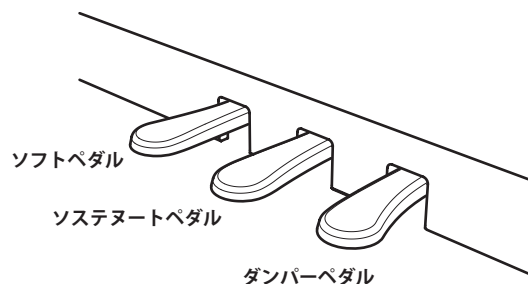
［SOUND SELECT］ボタンを押しながら、白鍵の最低音から8鍵、黒鍵の最低音から11鍵のどれかを押して選択します。

音色名（白鍵で選択）
SKコンサートグランド
EXコンサートグランド
アップライトピアノ
スタジオグランド1
スタジオグランド2
メローグランド1
メローグランド2
モダンピアノ

音色名（黒鍵で選択）
エレクトリックピアノ1
エレクトリックピアノ2
ジャズオルガン
チャーチオルガン
ハープシコード
ビブラフォン
ストリングス1
ストリングス2
クワイア
ファンタジー1
ファンタジー2

音色の選び方2

［SOUND SELECT］ボタンを押すごとに順番に音色を変更することができます。

ペダルを使う

ペダルにはダンパーペダル / ソステヌートペダル / ソフトペダルがあります。これらはピアノ演奏のときに使われ、次のようなはたらきがあります。

ダンパーペダル（右のペダル）

このペダルを踏んで演奏すると鍵盤から手を離しても音が切れずに長く響かせることができます。

踏み具合により余韻の長さを調節することができます（ハーフペダル対応）。

ソフトペダル（左のペダル）

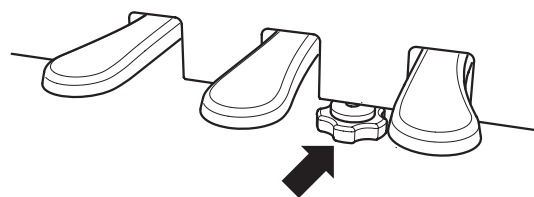
音量がわずかに下がると同時に音の響きがやわらかくなります。ジャズオルガンを選択している時は、ロータリー効果のスピード（Slow/Fast）を切り替えることができます。

* 音色によっては効果がわかりにくいものもあります。

ソステヌートペダル（中央のペダル）

鍵盤を押した後、指を離す前にこのペダルを踏むと、そのとき押さえていた鍵盤の音のみに余韻を与えます。従って、このペダルを踏んだ後に押した別の鍵盤の音は、通常通り発音します。

アジャスターについて

アジャスターが浮いた状態で使用すると、ペダル土台を破損する恐れがあります。必ずアジャスターが床についた状態でご使用ください。

ペダルのお手入れについて

表面が汚れた場合、乾いた食器洗い用スポンジで拭くと綺麗になります。布ではかえって曇ってしまう場合があります。

グランドフィールペダルシステムについて

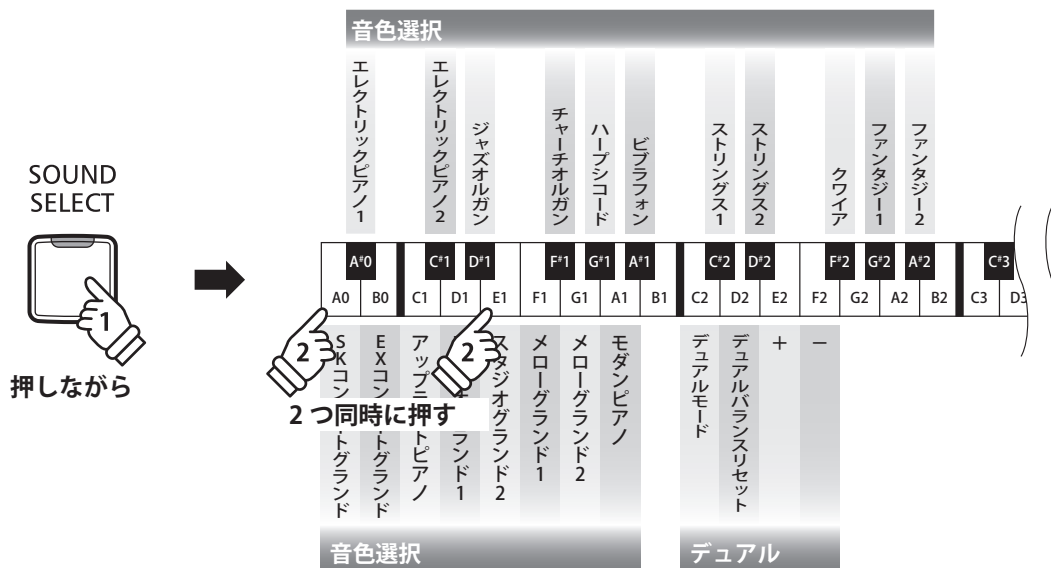
CA17 のペダルにはグランドフィールペダルシステムが搭載されています。従来のペダルより荷重が重く、3 本のペダルそれぞれがよりグランドピアノ EX に近い踏み心地となっています。

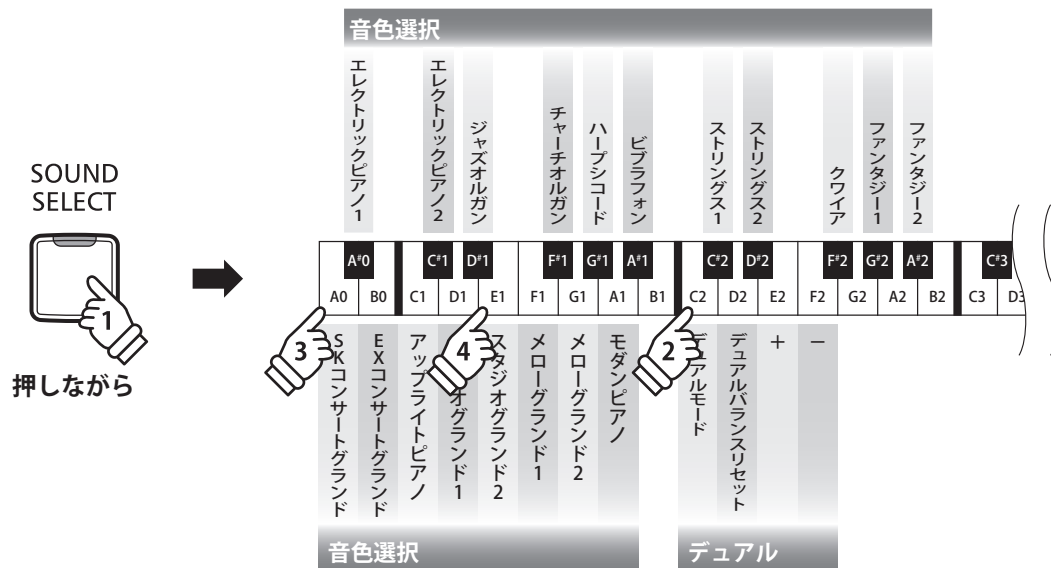
デュアル演奏

デュアル演奏とは2つの音色を重ね合わせる機能です。2つの音色が同時に発音されメロディーをデュエットさせたり、同系統の音色を混ぜて厚みのある音を作り出すことで音楽表現の幅が広がります。

デュアル演奏への入り方は、次の2通りあります。

デュアル演奏に入る1（P.12～P.13　操作ガイド「サウンド」参照）

［SOUND SELECT］ボタンを押しながら、白鍵の最低音から8鍵、黒鍵の最低音から11鍵のどれかを2つ同時に押します。

デュアル演奏に入る2（P.12～P.13　操作ガイド「サウンド」参照）

［SOUND SELECT］ボタンを押しながら、C2を押した後、そのまま（［SOUND SELECT］ボタンを離さないで）白鍵の最低音から8鍵、黒鍵の最低音から11鍵のどれかを順に2つ押します。

デュアル演奏の音量バランスを調整する（P.12～P.13　操作ガイド「サウンド」参照）

［SOUND SELECT］ボタンを押しながら、E2（プラス）またはF2（マイナス）またはD2（バランスリセット）を押すと2つの音色の音量バランスを調整することができます。

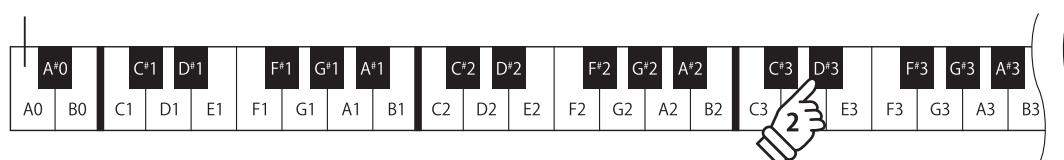
デュアル演奏を終了する

デュアル演奏の解除は［SOUND SELECT］ボタン押します。デュアル演奏の設定が解除されて、コンサートグランド1が選択されます。

4 ハンズモードを楽しむ（連弾演奏）

4ハンズモードとは鍵盤のほぼ中央で左右2つに分け、それぞれ同じ音域で演奏することです。この時ダンパーペダル（右ペダル）は右側の鍵盤のダンパーペダルとして、ソフトペダル（左ペダル）は左側の鍵盤のダンパーペダルとして動作しますので、まるで2台のピアノのように使うことができます。

4 ハンズモードに入る

［LESSON］ボタンを押しながら D#3 を押します。
［LESSON］ボタンが点滅します。

音色変更

通常の音色を選ぶ方法で、音色を選ぶことができます。両方の音域が同じ音色に設定されます。

4 ハンズモードを終了する

再度［LESSON］ボタンを押します。［LESSON］ボタンが消灯します。

メトロノームを使う

メトロノームを鳴らしてテンポを正しく練習することができます。

メトロノームの ON/OFF

［METRONOME］ボタンを押します。［METRONOME］ボタンが点灯し､メトロノームが発音します。再度［METRONOME］ボタンを押すとメトロノームが止まり、［METRONOME］ボタンが消灯します。

* 電源 ON 時は、1/4 拍子，テンポ 120 の設定になります。

拍子・音量の設定（P.14 ～ P.15　操作ガイド「メトロノーム」参照）

［METRONOME］ボタンを押しながら、対応した黒鍵を押すと拍子・音量を設定できます。拍子は 1/4，2/4，3/4，4/4，5/4，3/8，6/8 より選択することができます。

* 1/4 拍子選択時には、アクセント音が無いクリック音だけになります。
* 音量は D#2（マイナス）または F#2（プラス）を押すことで少しずつ調整することができます。

演奏ガイド

テンポの設定（P.14 ～ P.15　操作ガイド「メトロノーム」参照）

［METRONOME］ボタンを押しながら、対応した白鍵を押すとテンポの値を設定できます。値は 4 拍子では 10 ～ 300 の範囲、8 拍子では 20 ～ 600 の範囲で設定できます。値は 1 分間の拍数を表しています。

* テンポ値の入力は、3 桁で行います。

操作例 1.　メトロノームのボタンを押しながら、「1」「3」「6」の鍵盤を押します。メトロノームボタンを離すとテンポが 136 に設定されます。

操作例 2.　メトロノームのボタンを押しながら、テンポアップまたはテンポダウンの鍵盤をくり返し押すことで、現在のテンポから少しずつテンポを調整することができます。（テンポの値を 2 ずつ上下できます）

デモ曲を聴く

本製品には音色ごとにその音色の特徴を生かしたデモ曲を内蔵しています。

鍵	音色名	曲　名	作曲者名
A0	SK コンサートグランド	華麗なる大ポロネーズ Op.22	ショパン
B0	EX コンサートグランド	ハンガリー狂詩曲第 6 番	リスト
C1	アップライトピアノ	アルプスの夕映え	エステン
D1	スタジオグランド 1	オリジナル	カワイ
E1	スタジオグランド 2	オリジナル	
F1	メローグランド 1	ソナタ第 30 番	ベートーベン
G1	メローグランド 2	亜麻色の髪の乙女	ドビュッシー
A1	モダンピアノ	オリジナル	カワイ
A#0	エレクトリックピアノ 1	オリジナル	
C#1	エレクトリックピアノ 2	オリジナル	
D#1	ジャズオルガン	オリジナル	
F#1	チャーチオルガン	コラール前奏曲 “ 目覚めよ、と呼ぶ声あり ”	バッハ
G#1	ハープシコード	フランス組曲第 6 番	
A#1	ビブラフォン	オリジナル	カワイ
C#2	ストリングス 1	四季 “ 春 ”	ヴィヴァルディ
D#2	ストリングス 2	オリジナル	カワイ
F#2	クワイア	ロンドンデリーの歌	アイルランド民謡
G#2	ファンタジー 1	オリジナル	カワイ
A#2	ファンタジー 2	オリジナル	

更に、付属の楽譜集「クラシカルピアノコレクション」に収められているピアノ 29 曲（下記）も本体に内蔵しています。

クラシカルピアノコレクション

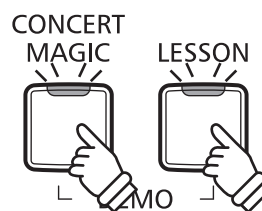
鍵	曲　名	作曲者名
B1	タンブラン	ラモー
C2	調子のよいかじ屋	ヘンデル
D2	メヌエット　ト長調（BWV.Anh.114）	バッハ
E2	メヌエット　ト短調（BWV.Anh.115）	
F2	メヌエット　ト長調（BWV.Anh.116）	
G2	かっこう	ダカン
A2	ガヴォット	ゴセック
B2	メヌエット	ボッケリーニ
C3	主題と変奏「ピアノソナタ第 11 番 K.331」より第 1 楽章	モーツァルト
D3	トルコ行進曲「ピアノソナタ第 11 番 K.331」より第 3 楽章	
E3	メヌエット	
F3	ピアノ・ソナタ「月光」より第 1 楽章	ベートーベン
G3	ピアノ・ソナタ「悲愴」より第 2 楽章	
A3	エリーゼのために	
B3	ロンド・ファヴォリ	フンメル
C4	即興曲　作品 90 の 4	シューベルト
D4	楽興の時　作品 94 の 3	
E4	間奏曲	
F4	即興曲　作品 142 の 3	
G4	歌の翼に	メンデルスゾーン
A4	春の歌	
B4	ロンド・カプリッチョーソ	
C5	別れの曲	ショパン
D5	雨だれの前奏曲	
E5	子犬のワルツ	
F5	ノクターン第 2 番	
G5	幻想即興曲	
A5	軍隊ポロネーズ	
B5	英雄ポロネーズ	

デモ曲を聴く

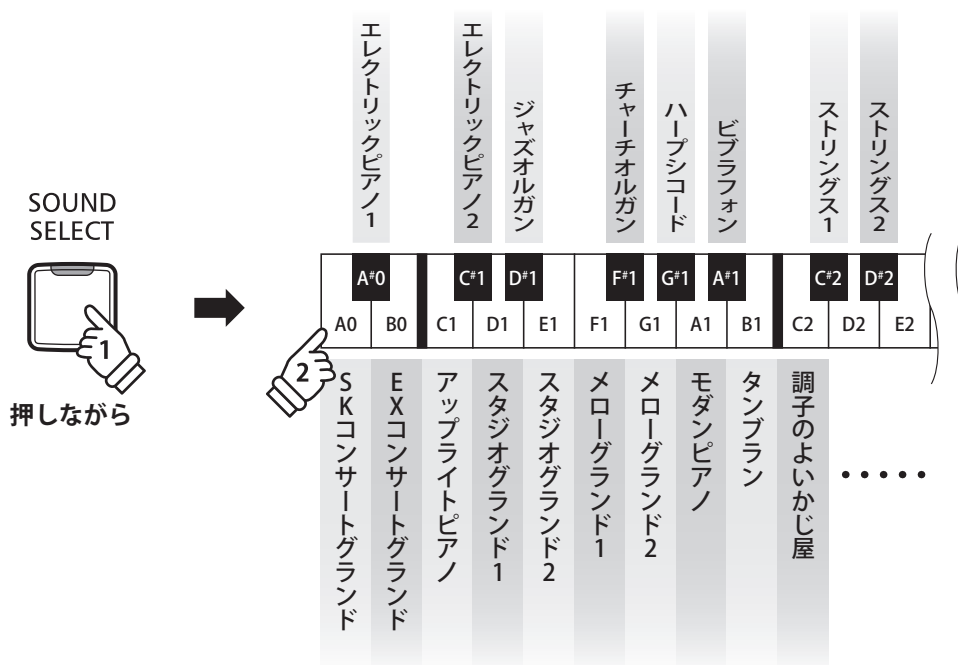
1. デモ曲を聴く・停止する

［CONCERT MAGIC］ボタンと［LESSON］ボタンを同時に押すと、「SK コンサートグランド」のデモ曲が演奏されます。

演奏を止めるには、［CONCERT MAGIC］または［LESSON］ボタンを押します。

* 演奏を止めなければ、各音色のデモ曲、クラシカルピアノコレクションが順不同に演奏されます。

2. デモ曲を選択する

デモ曲演奏中、［SOUND SELECT］ボタンを押すごとにデモ曲が変わります。
以下のように鍵盤でデモ曲を選ぶこともできます。

様々な機能を楽しむ

レッスン機能を楽しむ

1 練習したい曲を選ぶ

CA17はバイエル（バリエーション20曲を含む126曲）、ブルクミュラー25の練習曲（25曲）、チェルニー30の練習曲（30曲）を全曲内蔵しています。

ここではレッスン機能を使ってできることと練習したい曲を選ぶ方法を説明します。

* 練習するための楽譜はカワイ出版のものをご使用ください。

レッスン曲集

1. バイエルピアノ教則本　全曲　（ただし予備練習、付録を除く）　（カワイ出版）
2. ブルクミュラー25の練習曲　全曲　（カワイ出版）
3. チェルニー30の練習曲　全曲　（カワイ出版）

レッスン機能を使って

内蔵曲集から1曲を選んで次のような練習ができます。

1. 見本曲を再生して曲想を覚える。
2. 見本曲の左手（右手）パートを再生しながら右手（左手）パートを練習する。
3. テンポを変更して練習する。

1. レッスン機能に入る

［LESSON］ボタンを押すと、ランプが点灯しレッスン機能に入ります。

2. 曲集を選択する（P.14～P.15　操作ガイド「レッスン」参照）

練習したい曲集を選びます。［LESSON］ボタンを押しながら曲集が割り当ててある黒鍵を押します。

3. 曲を選択する（P.14～P.15　操作ガイド「レッスン」参照）

［LESSON］ボタンを押しながら対応した白鍵を押して曲番号を入力します。その後［LESSON］ボタンを離します。

バイエルのバリエーションを選ぶ

バイエルは全部で106番まであり、そのうち1番と2番にはバリエーションがそれぞれ12曲と8曲ずつあります。

［LESSON］ボタンを押しながらバイエルの黒鍵を押し、1または2の白鍵を押します。バリエーションの数だけ次曲を選ぶ白鍵を押します。（1-2の場合は次曲を選ぶ白鍵を2回押します）

その後［LESSON］ボタンを離します。

バイエルの構成	
1番	テーマ
1-1～1-12	バリエーション
2番	テーマ
2-1～2-8	バリエーション
3番	
4番	
⋮	
106番	

2 練習曲を聴く

ここでは内蔵されている練習曲を聴く方法を説明します。

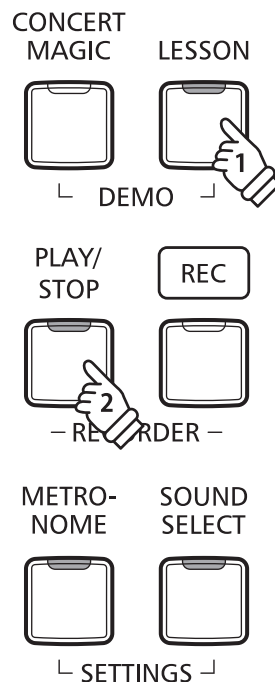
1. 練習曲を聴く

（曲選択は前ページを参照）
［LESSON］ボタンを押します。［LESSON］ボタンが点灯します。［PLAY/STOP］ボタンを押すと［PLAY/STOP］ボタンが点灯し、メトロノームが 1 小節鳴った後、見本曲が再生されます。
* 音色は自動的に SK コンサートグランドになります。

［PLAY/STOP］ボタンをもう一度押すと見本曲の再生が止まります。もう一度［PLAY/STOP］ボタンを押すと止めたところから再生が始まります。

最初から再生したい場合には、［PLAY/STOP］ボタンを 1 秒以上押すか、選曲し直します。［PLAY/STOP］ボタンが消灯して先頭にもどります。

見本曲再生中はメトロノームが再生されませんが、メトロノームを鳴らしたい場合には、［METRONOME］ボタンを押します。曲に応じた拍子が鳴ります。

練習曲のテンポを変更して聴きたい場合には、［METRONOME］ボタンを押しながら対応した鍵盤を押してテンポの指定をします。元のテンポに戻す場合には［METRONOME］ボタンを押しながら鍵盤のテンポアップとテンポダウンを同時に押します。
（P.14 ～ P.15　操作ガイド「メトロノーム」参照）

2. レッスン機能を終了する

もう一度［LESSON］ボタンを押すとレッスン機能を終了します。

3 片手で練習する

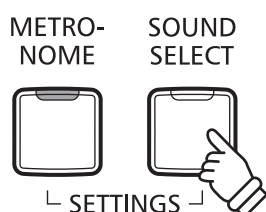
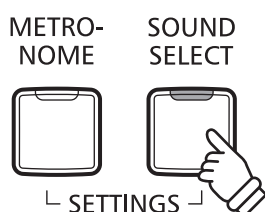
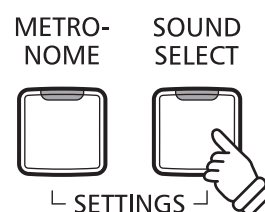
ここでは練習曲を聴きながら右手、左手別々に練習する方法を説明します。

レッスンモードに入った時、[METRONOME] ボタンと [SOUND SELECT] ボタンの両方が点灯します。これは左右両方のパートが再生されていることを示しています。

パートの選び方 1

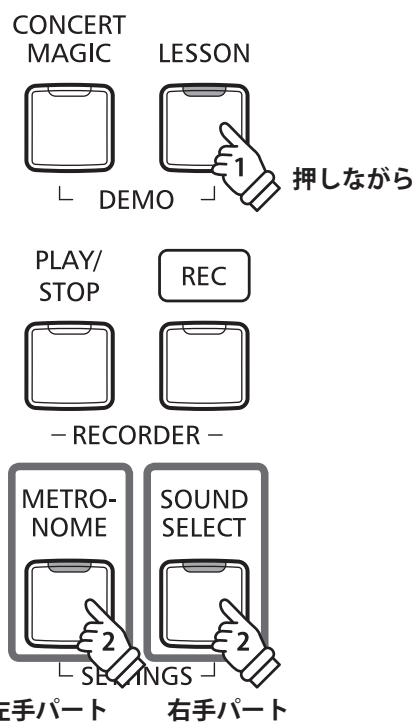
練習曲を選択した後、[SOUND SELECT] ボタンを押します。[SOUND SELECT] ボタンが消灯して [METRONOME] ボタンのみが点灯します。これで左手のパートのみ再生されるようになります。

[SOUND SELECT] ボタンを 2 回押すと [METRONOME] ボタンが消灯して [SOUND SELECT] ボタンが点灯します。これで右手パートのみが再生されるようになります。

[PLAY/STOP] ボタンを押すと選択されたパートのみが再生されます。

1 回押すと左手パートのみ　**2 回押すと右手パートのみ**　**3 回押すと両手パートにもどる**

パートの選び方 2

パートをダイレクトに選ぶことができます。[LESSON] ボタンを押しながら再生したいパートのボタンを押します。

一度レッスンモードを終了して、再度レッスンモードに入ると通常再生に戻ります。

コンサートマジックを楽しむ

1 コンサートマジックとは？

コンサートマジックとは、指一本で本格的なピアノ演奏を可能にする画期的な機能です。CA17 にはコンサートマジック曲を 88 曲内蔵しております。曲名についてはコンサートマジック曲一覧（P.42）をご参照ください。

2 コンサートマジックを演奏しよう

ここでは、内蔵のコンサートマジック曲の選択と演奏方法を説明します。

1. コンサートマジックモードに入る

［CONCERT MAGIC］ボタンを押すと、ランプが点灯しコンサートマジックモードに入ります。

CONCERT
MAGIC

2. 曲を選択する（P.14 ～ P.15　操作ガイド「コンサートマジック」参照）

［CONCERT MAGIC］ボタンを押しながら、鍵盤で曲を選択します。

3. コンサートマジックを楽しむ

鍵盤を弾いてみましょう。どの鍵盤でもタクトのように拍子をとるようにたたけば演奏を進めることができます。鍵盤を弾くタッチによって強弱をつけることもできます。テンポの変化をつけることもできます。

通常の音色変更の場合と同様の操作で、音色を変更することができます。

4. コンサートマジックモードを終了する

［CONCERT MAGIC］ボタンを押すとコンサートマジックモードを終了します。

3 コンサートマジック曲を聴いてみよう

コンサートマジック曲は、普通のデモ曲として再生することができます。どんな曲かまず聴いてみたいときに便利な機能です。

通常再生

［CONCERT MAGIC］ボタンを押しながら鍵盤を押して選曲した後、［PLAY/STOP］ボタンを押します。

選択されている曲が繰り返し再生されます。

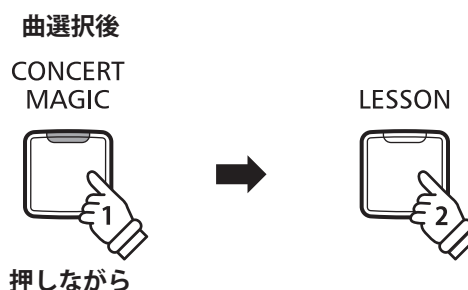
演奏を止めるにはもう一度［PLAY/STOP］ボタンを押します。

チェイン再生

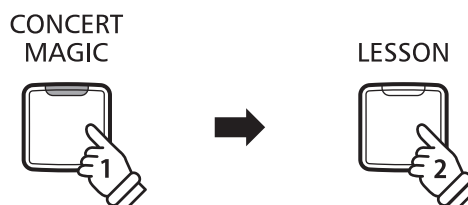
コンサートマジックモードに入り鍵盤で曲選択をせずに、［PLAY/STOP］ボタンを押します。1 曲目から 88 曲目まで順番に繰り返し再生します。

グループ再生

［CONCERT MAGIC］ボタンを押しながら鍵盤を押して選曲し、そのまま（［CONCERT MAGIC］ボタンを離さないで）［LESSON］ボタンを押します。選択した曲が含まれるグループの曲を順番に繰り返し再生します。

例えば、No.41 の「聖者の行進」を選ぶと、この曲から演奏が開始され、No.41 ～ No.49 のグループ「アメリカのクラシック音楽」を繰り返し再生します。

ランダム再生

コンサートマジックモードに入り鍵盤で曲選択をせずに、［LESSON］ボタンを押します。その後ストップするまでコンサートマジック内蔵曲がランダムに演奏されます。

ただし 1 曲目は「きらきら星」です。

演奏を録音する

CA17 は本体に 3 曲（3 ソング）まで録音して再生することができます。

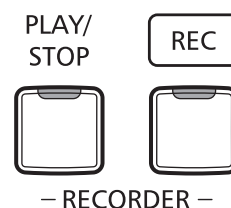
1. 録音モードに入る

［REC］ボタンを押します。［REC］ボタンが点滅します。

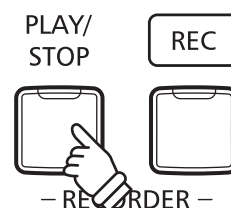
2. ソングの設定をする（P.14 ～ P.15　操作ガイド「レコーダー」参照）

［REC］ボタンを押しながら録音したいソング番号が割り当てられている白鍵を押します。すでに録音されているソングに録音すると、以前まであった演奏データが消去されて新しい演奏データが記憶されます。

3. 録音をスタートする

演奏を始めると自動的に録音がスタートします。このとき［REC］ボタンと［PLAY/STOP］ボタンが点灯します。
［PLAY/STOP］ボタンを押しても録音を開始できます。

4. 録音をストップする

演奏が終わったら［PLAY/STOP］ボタンを押して録音を終了します。［PLAY/STOP］ボタンと［REC］ボタンが消灯し録音が停止します。

* 録音データの書き込み中は［PLAY/STOP］ボタンと［REC］ボタンが点滅します。その間は決して電源を切らないでください。

録音した演奏を聴いてみる

録音した曲を聴いてみましょう。

▌聴きたいソング番号を選ぶ（P.14 ～ P.15　操作ガイド「レコーダー」参照）

［PLAY/STOP］ボタンを押しながら聴きたいソング番号が割り当てられている白鍵を押します。

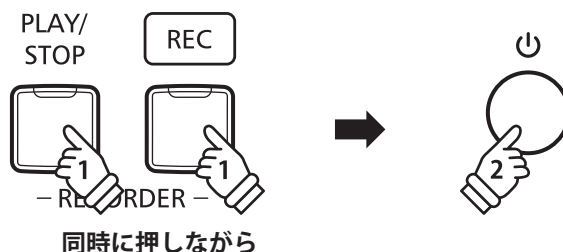
▌再生する

［PLAY/STOP］ボタンを離すと点灯し、再生がスタートします。
演奏を停止するには、再度［PLAY/STOP］ボタンを押します。

録音した演奏を消去する

CA17 に録音した演奏を消去する方法を説明します。録音したすべての曲が消去されますのでご注意ください。

▌録音した演奏を消去する

［PLAY/STOP］ボタンと［REC］ボタンを同時に押しながら、電源を ON にします。
録音した曲がすべて消去されます。

設定メニュー

CA17 では演奏を楽しむためのさまざまな便利な設定をすることができます。

* 付属の CA17 操作ガイドまたは音声アシストを使うと便利です。

設定メニュー

設定メニューの内容は以下の通りです。

設定項目	初期設定
1. リバーブ	オン
2. ブリリアンス	0
3. チューニング	440.0Hz
4. トランスポーズ	0
5. スペイシャルヘッドホンサウンド	ノーマル
6. ヘッドホンタイプ	ノーマル

1 リバーブ

リバーブを加えると、音に残響効果が加わりコンサートホールで演奏しているような深みのある美しい響きが得られます。各音色はあらかじめ最適なリバーブの設定になっています。

リバーブの種類

リバーブ名	効果
ルーム	室内での演奏時の残響を再現した効果です。
ラウンジ	ラウンジでの演奏時の残響を再現した効果です。
スモールホール	小ホールでの演奏時の残響を再現した効果です。
コンサートホール	クラシック向け大ホールでの演奏時の残響を再現した効果です。
ライブホール	ライブ向け大ホールでの演奏時の残響を再現した効果です。
カテドラル	大聖堂での演奏時の残響を再現した効果です。

リバーブのタイプ変更 （P.12 ～ P.13　操作ガイド「サウンド」参照）

［SOUND SELECT］ボタンを押しながら、「リバーブ」のタイプの設定をします。
リバーブは各音色ごとに設定できます。

2 ブリリアンス

音色の明るさを調節します。

ブリリアンスの調整（P.12 ～ P.13　操作ガイド「サウンド」参照）

［SOUND SELECT］ボタンを押しながら、プラスまたはマイナスに対応する黒鍵を押します。
ブリリアンス値の設定できる範囲は［－ 10 ～＋ 10］です。
値が大きくなるほど音色が明るくなります。

ブリリアンスをリセットする（P.12 ～ P.13　操作ガイド「サウンド」参照）

［SOUND SELECT］ボタンを押しながら、オフに対応する黒鍵を押します。
ブリリアンスがリセットされます。

3 チューニング

チューニングとは他の楽器とピッチ（音程）を合わせるときに行います。合奏のときや CD の再生に合わせて演奏するときなど、音程を合わせたいときに使用します。
442Hz 等と周波数を設定する方法と、他の楽器の音に合わせて上げたり下げたりする 2 つの方法があります。電源 ON 時は、440.0Hz に設定されています。0.5Hz 単位で設定できます。

チューニングの設定（P.14 ～ P.15　操作ガイド「セッティング」参照）

［METRONOME］ボタンと［SOUND SELECT］ボタンを同時に押しながら、「チューニング」の 10 キーで周波数を設定します。
「+0.5Hz / -0.5Hz」キーで 0.5Hz 単位で設定します。
周波数を設定するとチューニング音が発音します。音を聴きながら音程を合わせてください。

例えば、「441.5Hz」に設定する場合、鍵盤「4」「4」「1」を押し、さらに「+0.5Hz」を押します。もしくは、鍵盤「4」「4」「2」を押し、さらに「-0.5Hz」を押します。
* 427 ～ 453Hz の範囲で設定できます。

4 トランスポーズ

トランスポーズとは半音単位で調を変えることです。キー（調）の異なる楽器とのアンサンブル演奏や歌の伴奏をするときに、弾く鍵盤を変えずに簡単に移調できます。

オンオフキーを使えば設定値をかえずにトランスポーズのオンオフができます。トランスポーズの値を設定した場合はオンになります。

トランスポーズの設定（P.14 ～ P.15　操作ガイド「セッティング」参照）

［METRONOME］ボタンと［SOUND SELECT］ボタンを同時に押しながら、キーを上げたい場合は＋の鍵盤を、キーを下げたい場合はーの鍵盤を、キーを元に戻したい場合はオフの鍵盤を押します。
* トランスポーズは -12 ～ +12 の間で設定できます。

5 スペイシャルヘッドホンサウンド

イヤホンやヘッドホンでの演奏をより快適にするために、まるでアコースティックピアノから音が出ているような立体感 / 臨場感のあるサウンドを再現するのが「スペイシャルヘッドホンサウンド」です。ヘッドホンやイヤホンを装着していても聴感上の違和感が少なく長時間でも疲れにくい演奏が可能になります。

▍スペイシャルヘッドホンサウンドの種類

名称	説明
オフ	効果をかけない状態です。
フォワード	前方への定位を強調した立体感が得られます。
ノーマル	全方向バランスのとれた立体感が得られます。
ワイド	左右の広がりを強調した立体感が得られます。

▍スペイシャルヘッドホンサウンドの設定 （P.12 ～ P.13　操作ガイド「サウンド」参照）

［SOUND SELECT］ボタンを押しながら、設定したい種類の黒鍵を押します。

6 ヘッドホンタイプ

世の中には色々なイヤホンやヘッドホンが存在しています。ヘッドホンには大きく分けて ” オープンタイプ / クローズタイプ / セミオープンタイプ / インナーイヤー / カナル ” という 5 つのタイプがあります。CA17 では、これら 5 つのタイプそれぞれの特徴に合わせた専用の設定を内蔵していますので、あなたの持っているヘッドホンに最適な音で演奏することが可能です。

▍ヘッドホンタイプの種類

名称	説明
ノーマル	ヘッドホン専用の設定がされていない状態です。
オープン	オープン（開放）タイプのヘッドホンに適した設定です。
セミオープン	セミオープン（半開放）タイプのヘッドホンに適した設定です。
クローズ	クローズ（密閉）タイプのヘッドホンに適した設定です。
インナーイヤー	インナーイヤータイプのヘッドホンに適した設定です。
カナル	カナルタイプのヘッドホンに適した設定です。

▍ヘッドホンタイプの設定 （P.12 ～ P.13　操作ガイド「サウンド」参照）

［SOUND SELECT］ボタンを押しながら、設定したい種類の白鍵を押します。

コンサートチューナー

ピアノ調律師はアコースティックピアノには欠くことができません。調律師は調律 / 整調 / 整音作業により、ピアニストの趣好に合わせてピアノの調整をします。

コンサートチューナーはこれらの作業を電子的にシミュレートし、演奏者の好みに近いピアノに調整することができます。

CA17 ではサウンドプレビューを使って音の違いを聴きくらべながら設定することができます。

またこれらの設定は、スタートアップセッティングに記憶することができます。スタートアップセッティングについては P. 37 をご参照ください。

* 付属の CA17 操作ガイドまたは音声アシストを使うと便利です。

コンサートチューナーの内容と工場出荷時の設定

設定項目	初期設定
1. タッチ	ノーマル
2. ボイシング	ノーマル
3. ダンパーレゾナンス	2
4. ダンパーノイズ	2
5. ストリングレゾナンス	2
6. キーオフエフェクト	2
7. キーアクションノイズ	2
8. ストレッチチューニング	オン

1 タッチ

鍵盤を弾く強さによる音量を変更できます。指の強さ、お好みに合わせて、4 種類の中から選択できます。
電源 ON 時は、ノーマルに設定されています。

種類	効果	黒鍵
ライト	弱いタッチで弾いても大きな音が出やすくなります。	1
ノーマル	アコースティックピアノと同程度のタッチで音量が変化します。	2
ヘビー	強いタッチで弾かないと大きな音が出ません。	3
オフ	タッチの強弱に関わらず一定の音量で発音します。	オフ

タッチの設定（P.12 ～ P.13　操作ガイド「サウンド」参照）

［SOUND SELECT］ボタンを押しながら、「タッチ」鍵盤を押した後、設定したい種類の黒鍵（オフ、1、2、3）を押します。

2 ボイシング

アコースティックピアノにおける、弦を叩くハンマーの状態をシミュレートしたもので、4 種類のハンマータイプが選べます。

ハンマーの状態の種類

種類	効果	黒鍵
ノーマル	通常の設定です。	オフ
メロウ	やわらかめのハンマーをシミュレートしたソフトな音色になります。	1
ダイナミック	タッチの強弱に応じてソフトな音色からブライトな音色までダイナミックに変化します。	2
ブライト	硬めのハンマーをシミュレートしたブライトな音色になります。	3

ボイシングの設定（P.12 ～ P.13　操作ガイド「サウンド」参照）

［SOUND SELECT］ボタンを押しながら、「ボイシング」鍵盤を押した後、設定したい種類の黒鍵（オフ、1、2、3）を押します。

3 ダンパーレゾナンス

ピアノ音色でダンパーペダルを踏んだ時の共鳴効果の深さを変えることができます。（ピアノ音色のみ）

ダンパーレゾナンスの設定（P.12 ～ P.13　操作ガイド「サウンド」参照）

［SOUND SELECT］ボタンを押しながら、「ダンパーレゾナンス」鍵盤を押した後、設定したい値の黒鍵を押します。値は 1 ～ 3、またはオフがあります。

4 ダンパーノイズ

ダンパーペダルを踏んだときと、離したとき、ダンパーヘッドが弦に触れたり、離れたりする際のノイズ音が発生します。このノイズの音量を調整します。（ピアノ音色のみ）

ダンパーノイズの設定（P.12 ～ P.13　操作ガイド「サウンド」参照）

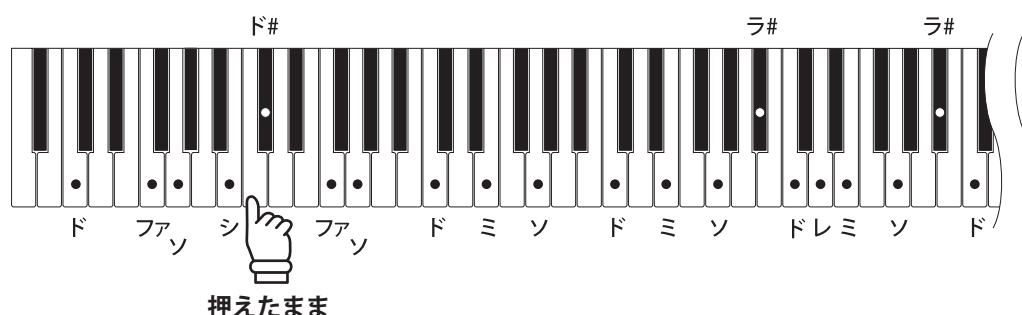
［SOUND SELECT］ボタンを押しながら、「ダンパーノイズ」鍵盤を押した後、設定したい値の黒鍵を押します。値は 1 ～ 3、またはオフがあります。

5 ストリングレゾナンス

ピアノの弦の共鳴効果（ストリングレゾナンス）をシミュレートしたもので、この共鳴音の音量を好みに合わせて変更することができます。（ピアノ音色のみ）

ストリングレゾナンスとは？

ピアノは各鍵盤毎に弦が張られています。ある鍵盤を押さえた状態で他の鍵盤を弾くと、2 つの鍵盤の音程の関係によって弦の共鳴が発生して音が出ます。これが「ストリングレゾナンス」です。

例えばドの鍵盤を押さえたままの時、下図の鍵盤を弾くとドの鍵盤の弦が共鳴して音が出ます。ドの鍵盤をそっと押さえたままにして下図の鍵盤を弾いてすぐに止めると共鳴音が鳴っていることが良くわかります。

ピアノではある鍵盤を押さえたままにして隣の鍵盤を弾くと振動が伝わっておさえていた弦が共鳴して音が出ます。CA17 ではこの現象もシミュレートしています。

ダンパーペダルを踏んだまま弾いた場合はストリングレゾナンス効果はありません。

ストリングレゾナンスの設定 （P.12 ～ P.13　操作ガイド「サウンド」参照）

［SOUND SELECT］ボタンを押しながら、「ストリングレゾナンス」鍵盤を押した後、設定したい値の黒鍵を押します。値は 1 ～ 3、またはオフがあります。

6 キーオフエフェクト

特に低音でピアノの鍵盤を強く弾いてから離したときに、音が止まる直前にダンパーが弦に触れる音をシミュレートしたもので、この音量をお好みに合わせて調整することができます。（ピアノ音色、エレクトリックピアノ 1 のみ）

キーオフエフェクトの設定 （P.12 ～ P.13　操作ガイド「サウンド」参照）

［SOUND SELECT］ボタンを押しながら、「キーオフエフェクト」鍵盤を押した後、設定したい値の黒鍵を押します。値は 1 ～ 3、またはオフがあります。

7 キーアクションノイズ

ピアノでは、鍵盤を離した際に鍵盤アクションも同時に戻りますが、この際に鍵盤アクションからノイズ音が発生します。キーアクションノイズはこのノイズ音をシミュレートしたもので、このノイズの音量を設定することができます。（ピアノ音色、ハープシコードのみ）

▌キーアクションノイズの設定（P.12 ～ P.13　操作ガイド「サウンド」参照）

［SOUND SELECT］ボタンを押しながら、「キーアクションノイズ」鍵盤を押した後、設定したい値の黒鍵を押します。値は 1 ～ 3、またはオフがあります。

8 ストレッチチューニング

ストレッチチューニングとは通常の平均律に比べ低音側は低く、高音側は高くするピアノ特有の調律のことです。CA17 はストレッチチューニングのオン / オフを選ぶことができます。（ピアノ音色のみ）

▌ストレッチチューニング（P.12 ～ P.13　操作ガイド「サウンド」参照）

［SOUND SELECT］ボタンを押しながら、「ストレッチチューニング」鍵盤を押した後、オフまたは 1（オン）の黒鍵を押します。

スタートアップセッティング

CA17 は自分の好みの設定を本体に記憶することで、電源を入れ直してもその設定で演奏することができます。この機能をスタートアップセッティングと言います。

記憶される内容は以下のとおりです。

スタートアップセッティングに記憶される内容

設定メニューで設定した内容
デュアル演奏の設定、4 ハンズモードの設定内容
メトロノームのテンポ、拍子、音量
音色

スタートアップセッティングを実行する

［SOUND SELECT］ボタンと［REC］ボタンを 3 秒間押し続けると、［METRONOME］ボタン、［PLAY/STOP］ボタン、［CONCERT MAGIC］ボタンの順にボタンが点灯します。

［METRONOME］ボタン、［PLAY/STOP］ボタン、［CONCERT MAGIC］ボタンが点滅するとスタートアップセッティングが実行されます。

電源セッティング（オートパワーオフ）

CA17 では、何も動作していない状態が続いた場合、電源を自動で切る設定を行うことができます。

電源セッティングの設定内容

種類	内容
オフ	電源が切れない設定です。初期値はオフに設定されています。
30min	30 分何も動作していない状態が続くと自動で本機の電源が切れます。
60min	60 分何も動作していない状態が続くと自動で本機の電源が切れます。
120min	120 分何も動作していない状態が続くと自動で本機の電源が切れます。

電源セッティングに入る （P.14 ～ P.15　操作ガイド「セッティング」参照）

［METRONOME］ボタンと［SOUND SELECT］ボタンを同時に押しながら、設定したい時間に対応する鍵盤を押します。

* ここで設定した時間は、自動的に保存され、次回電源をオンした時も適用されます。

サウンドプレビュー・音声アシストの音量を調整する

　サウンドプレビュー・音声アシストの音量を調整することができます。お好みに合わせて、サウンドプレビュー・音声アシストの音量を大きくしたり、鳴らなくしたりすることができます。

▌サウンドプレビュー・音声アシストの音量設定（P.14 ～ P.15　操作ガイド「セッティング」参照）

　［METRONOME］ボタンと［SOUND SELECT］ボタンを同時に押しながら、G#7（マイナス）または A#7（プラス）を押します。
　値はオフまたは 1 ～ 3 があります。

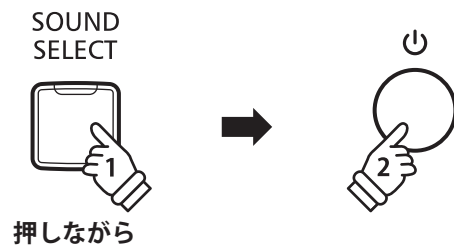
* 電源 ON 時は、3 に設定されています。
* ここで設定した音量は自動的に保存され、次回電源をオンした時も適用されます。

音声アシストのオン / オフを切り換える

　音声アシストのオン / オフを切り換えることができます。
　オフにすると、ボタンを押し続けても音声アシストモードに入ることはありません。

▌音声アシストのオン / オフを切り換える

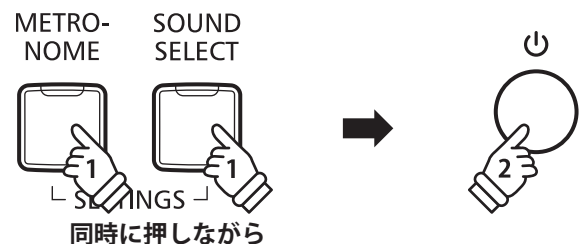
　［SOUND SELECT］ボタンを押しながら、電源を入れます。
　音声アシストのオン / オフが切り換わります。

* ここで設定した内容は、自動的に保存され、次回電源をオンした時も適用されます。

ファクトリーリセット

　ファクトリーリセットを行うと録音した演奏、スタートアップセッティングの設定内容、電源セッティングの設定内容、音声アシストのオン / オフ、88 鍵ボリュームの設定内容を全て初期化し、購入時の状態に戻すことができます。

▌ファクトリーリセットを実行する

　［METRONOME］ボタンと［SOUND SELECT］ボタンを同時に押しながら、電源を入れます。
　ファクトリーリセットが実行されます。
　ファクトリーリセットが終了すると、すべてのボタンのランプが点滅します。
　本体の電源を入れ直すと購入時の状態になっています。

様々な設定を操作する

困ったときは？

電源が入らない

コンセントと AC アダプターとピアノ本体が正しく接続されていますか？

接続されていても、抜けかかっていることがあります。一度抜いて接続しなおしてみてください。（P. 9 参照）

電源が突然切れた。いつの間にか切れていた。

電源セッティングを設定されていませんか？（P. 37 参照）

音が出ない

1. ローカルコントロールがオフになっていませんか？（PDF マニュアル参照）
2. ヘッドホンが接続されていませんか？（P.11 参照）
3. 音量が 0 になっていませんか？（P.11 参照）

ヘッドホンを使っていないのに、スピーカーから音が出ない

付属のヘッドホンには、プラグにアダプターが付いています。このアダプターが楽器に付いたままになっていると、スピーカーからの音は出ません。

特定の演奏、特定の音域で音が歪む

ボリュームを大きくすると、演奏によっては音が歪む場合があります。その場合、音量を小さくして使用してください。

特定のピアノ音色で音程や音質がおかしい

内蔵のピアノ音色は、ピアノ本来の音を可能な限り忠実に再現しています。ピアノ音は複雑な響きを持っているため、聴く位置や環境によって音の感じ方が変わります。また単音で強打した場合と曲の流れの中で弾いた場合でも音の感じ方は変わります。そのため音域によっては倍音が強く聴こえ、音程や音質が異質に感じられる場合があります。これは異常ではありません。

ペダルが効かない / 効いたり効かなかったりする

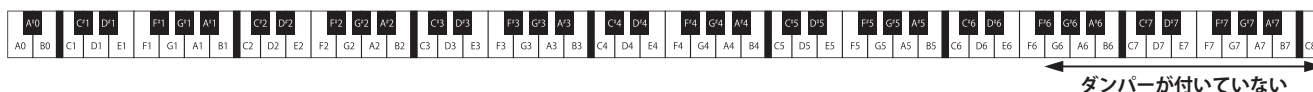
1. ペダルコードと楽器の接続をご確認ください。接続されていた場合は、一度抜いてしっかりと差しなおしてみてください。

2. アジャスターが適正な長さになっているか、ご確認ください。

高音域で、ダンパーが効かない

ピアノにおいて、一番高い領域の鍵盤（下図）にはダンパーという止音装置が付いておりません。CA17 ではその機構を忠実に再現しているため、その鍵盤についてはダンパーペダルを踏んでも踏まなくても音が伸びます。

A0 B0 C1 D1 E1 F1 G1 A1 B1 C2 D2 E2 F2 G2 A2 B2 C3 D3 E3 F3 G3 A3 B3 C4 D4 E4 F4 G4 A4 B4 C5 D5 E5 F5 G5 A5 B5 C6 D6 E6 F6 G6 A6 B6 C7 D7 E7 F7 G7 A7 B7 C8

ダンパーが付いていない

ペダルを踏むと、ぐらぐらする

アジャスターが適正な長さになっているか、ご確認ください。

レッスン曲がスタートしない

曲を選んだあと、[PLAY/STOP］ボタンを押してください。

鍵盤によって音量が違う

88 鍵ボリュームで、気になる鍵盤の音量を調整してください。（P.40 参照）

88 鍵ボリューム

88 鍵ボリュームでは、88 個の鍵盤それぞれのボリューム調整を行う事ができます。

88 鍵ボリュームの設定に入る

［CONCERT MAGIC］ボタンと［LESSON］ボタンを同時に押しながら、電源を入れます。
［CONCERT MAGIC］ボタン、［LESSON］ボタン、［PLAY/STOP］ボタン、［REC］ボタンが点灯します。
通常の演奏、操作はできなくなります。

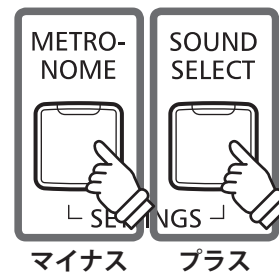
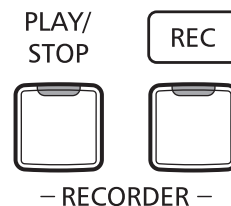
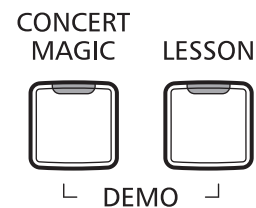
88 鍵ボリュームを設定する

1. 鍵盤を指定する

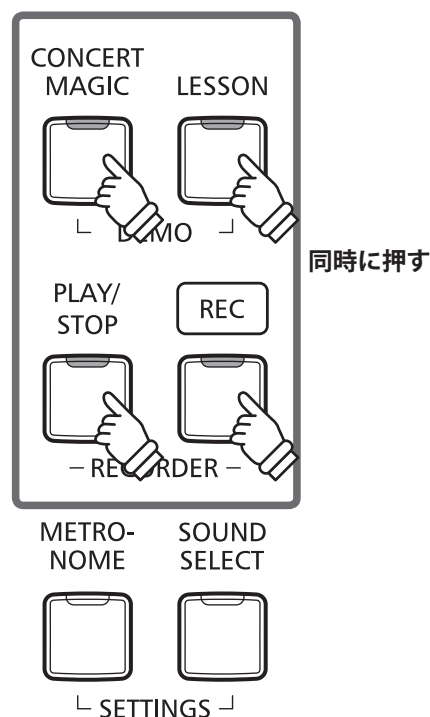
ボリューム調整を行いたい鍵盤を押して指定します。

2. ボリューム値を設定する

［SOUND SELECT］ボタンを押すとボリューム値が +1 ずつ上がります。
［METRONOME］ボタンを押すとボリューム値が -1 ずつ下がります。

* -50 ～ +50 の範囲で設定できます。
* ［SOUND SELECT］ボタンと［METRONOME］ボタンを同時に押すと、ボリューム値が初期状態になります。

88 鍵ボリュームをリセットする

［CONCERT MAGIC］ボタン、［LESSON］ボタン、［PLAY/STOP］ボタン、［REC］ボタンを同時に押します。

［CONCERT MAGIC］ボタン、［LESSON］ボタン、［PLAY/STOP］ボタン、［REC］ボタンのランプが点滅し、88 鍵すべてのボリューム値が初期状態になります。

88 鍵ボリュームの設定を終了する

電源を切ります。

設定したボリューム値が自動的に保存され、次回電源を入れたときも適用されます。

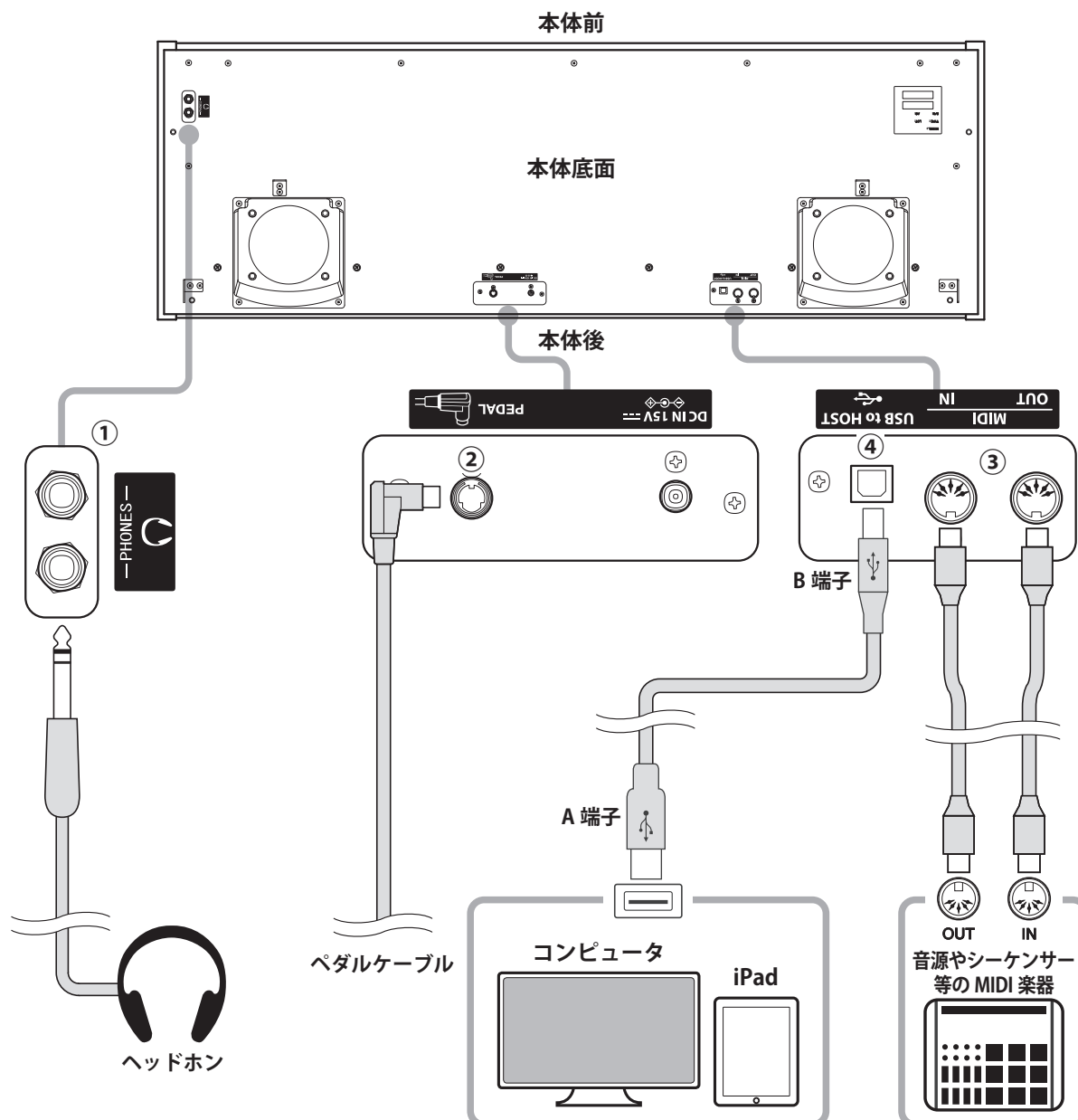
コンサートマジック曲一覧

	曲名	作曲者名
	子供の曲（27 曲）	
1	きらきら星	フランス民謡
2	ロンドン橋	イギリス民謡
3	ふるさと	岡野貞一
4	山の音楽家	ドイツ民謡
5	もみじ	岡野貞一
6	ゆき	文部省唱歌
7	七つの子	本居長世
8	10 人のインディアン	アメリカ民謡
9	さくらさくら	日本古謡
10	わらの中の七面鳥	アメリカ民謡
11	ひらいたひらいた	わらべうた
12	かくれんぼ	下総皖一
13	虫のこえ	文部省唱歌
14	アイアイ	宇野誠一郎
15	うみ	井上武士
16	おもちゃのチャチャチャ	越部信義
17	かたつむり	文部省唱歌
18	春がきた	岡野貞一
19	もりのくまさん	アメリカ民謡
20	夕やけこやけ	草川信
21	ドレミの歌	O. ハマースタイン、R. ロジャース
22	北風こぞうの寒太郎	福田和禾子
23	ぶんぶんぶん	ボヘミア民謡
24	ゆかいな牧場	アメリカ民謡
25	パフ	P. ヤーロウ、L. リプトン
26	河はよんでいる	G. ベアール
27	こいぬのマーチ	外国曲
	ディズニー / アニメ / スクリーン（13 曲）	
28	狼なんか怖くない	F. チャーチル
29	チムチムチェリー	シャーマン兄弟
30	ハイホー	F. チャーチル
31	ビビディバビディブー	マークデビッド他 2 名
32	星に願いを	L. ハーライン
33	小さな世界	シャーマン兄弟
34	ミッキーマウスマーチ	J. ドッド
35	さんぽ	久石譲
36	エーデルワイス	O. ハマースタイン、R. ロジャース
37	チキチキバンバン	シャーマン兄弟
38	虹の彼方に	H. アーレン
39	となりのトトロ	久石譲
40	サザエさん	筒美京平
	アメリカのクラシック音楽（9 曲）	
41	聖者の行進	アメリカ民謡
42	おじいさんの古時計	アメリカ民謡
43	リパブリック賛歌	アメリカ民謡
44	アルプス一万尺	アメリカ民謡
45	ロンドンデリーの歌	アイルランド民謡
46	ケンタッキーの我が家	フォスター
47	故郷の人々	フォスター
48	草競馬	フォスター
49	線路は続くよどこまでも	アメリカ民謡

	曲名	作曲者名
	クラシック（31 曲）	
50	喜びの歌	ベートーベン
51	ウィリアムテル序曲	ロッシーニ
52	天国と地獄	オッフェンバック
53	新世界より家路	ドボルザーク
54	エンターティナー	ジョプリン
55	メヌエット　ト長調	バッハ
56	花のワルツ	チャイコフスキー
57	スケーターズ ワルツ	ワルトトイフェル
58	美しく青きドナウ	ヨハン・シュトラウス
59	闘牛士の歌	ビゼー
60	ピチカート ポルカ	ヨハン・シュトラウス
61	ブラームスの子守歌	ブラームス
62	ワシントンポストマーチ	J.P. スーザ
63	アメリカン パトロール	ミーチャム
64	眠りの森の美女	チャイコフスキー
65	ガボット	ゴセック
66	軍隊行進曲	シューベルト
67	ジムノペディ　1 番	サティ
68	前奏曲作品 28-7	ショパン
69	皇帝円舞曲	ヨハン・シュトラウス
70	メープル リーフ ラグ	ジョプリン
71	双頭のわしの旗のもとに	ワグナー
72	びっくりシンフォニー	ハイドン
73	凱旋行進曲	ヴェルディ
74	エリーゼのために	ベートーベン
75	アヴェマリア	シューベルト
76	ハバネラ	ビゼー
77	ジプシーの歌	ビゼー
78	未完成交響曲	シューベルト
79	結婚行進曲	メンデルスゾーン
80	婚礼の合唱	ワーグナー
	クリスマスの曲（4 曲）	
81	おめでとうクリスマス	イギリス民謡
82	ジングルベル	ピアポント
83	もろ人こぞりて	讃美歌
84	きよしこの夜	グルーバー
	世界の民謡（4 曲）	
85	フニクリフニクラ	デンツァ
86	こぎつね	ドイツ民謡
87	アニーローリー	スコットランド民謡
88	サンタルチア	ナポリ民謡

別売コンサートマジック曲集について

「コンサートマジック曲集 Vol.2」では、本体に内蔵されている全コンサートマジック曲の演奏譜とメロディー譜を掲載しています。ご注文方法など詳細は、付属の「楽譜集のご案内」をご覧ください。

他の機器との接続

① PHONES（ヘッドホン端子）

ヘッドホンを接続する端子です。2 本まで接続できます。

② PEDAL（ペダル端子）

ペダルユニットから出ているペダルケーブルを接続する端子です。

③ MIDI（ミディ）

MIDI 規格に対応している楽器と接続する端子です。

④ USB to HOST（USB 端子）

市販の USB ケーブルでコンピュータや Apple 社 iPad と接続すると、MIDI デバイスとして認識され MIDI メッセージを送受信することができます。

USB 端子には A 端子と B 端子があり、コンピュータ側は A 端子、デジタルピアノ側は B 端子でそれぞれ接続します。

iPad には A 端子の USB ポートがないため、接続には別途 Apple 社製の変換アダプタが必要になります。

他の機器と接続する時は CA17 の電源を切ってから行ってください。電源が入っている時に行うとノイズ音が発生し、アンプの保護回路が働き CA17 の音が出なくなることがあります。出なくなった場合はもう一度電源を入れ直してください。

他の機器との接続

USB ドライバーについて

コンピュータとデジタルピアノを USB 接続してデータをやりとりするためには、デジタルピアノを正しく動作させるためのソフトウェア（USB-MIDI ドライバー）がコンピュータに組み込まれている必要があります。

お使いのコンピュータの OS によって使用する USB-MIDI ドライバーが異なりますので、下記の説明をよく読んでお使いください。

OS	
Windows ME Windows XP（SP なし , SP1, SP2, SP3） Windows XP 64-bit Windows Vista（SP1, SP2） Windows Vista 64-bit（SP1, SP2） Windows 7　Windows 7 64-bit Windows 8　Windows 8 64-bit Windows 8.1　Windows 8.1 64-bit	Windows に搭載されている標準 USB-MIDI ドライバーを使用しますので、パソコンと接続すると自動的にこの USB-MIDI ドライバーがインストールされます。アプリケーションソフトで本機と MIDI 通信する場合は MIDI デバイスとして Windows ME / XP / XP 64bit の場合は「USB オーディオデバイス」を、Windows Vista / Vista 64-bit / 7 / 7 64-bit / 8 / 8 64-bit / 8.1 / 8.1 64-bit の場合は「USB-MIDI」を指定してください。
Windows 98 SE Windows 2000 Windows Vista（SP なし）	指定の専用 USB-MIDI ドライバーをコンピュータに追加する必要があります。下記のカワイホームページより専用 USB ドライバーをダウンロードしコンピュータにインストールしてください。*Windows Vista の場合は必ず XP 互換モードでインストールしてください。 **http://www.kawai.co.jp/download_demo/driver/** ・パソコンと接続する前に説明書をよく読んで、必ずインストール作業を行ってください。この作業を行わずに接続すると、USB-MIDI ドライバーが動作しない場合があります。万一動作しなくなった場合は、OS の「ドライバーの更新」機能によって正しい USB-MIDI ドライバーをインストールするか、「ドライバーの削除」で削除してからインストール作業をやり直してください。 ・アプリケーションソフトで本機と MIDI 通信する場合は MIDI デバイスとして「KAWAI USB MIDI IN」、及び「KAWAI USB MIDI OUT」を指定してください。
Windows Vista 64-bit（SP なし）	USB-MIDI をサポートしておりません。SP1、または SP2 にアップグレードをしてください。
Macintosh OS X	Macintosh OS X では自動的に USB-MIDI デバイスとして認識されますので、特別なドライバーは必要ありません。アプリケーションソフトで本機と MIDI 通信する場合は「USB-MIDI」を指定してください。
OS9 以前の Macintosh	OS9 以前の Macintosh にはサポートしておりません。市販の MIDI インターフェイスを使用して、MIDI 接続してください。

iPad について

CA17 は iPad と接続し、楽器に対応した iPad アプリケーションを使ってお楽しみいただけます。

ご使用の前に、下記のカワイホームページより iPad、各アプリケーションの最新の対応状況・動作環境情報を必ずご確認ください。

http://www.kawai.co.jp

USB に関するご注意

- MIDI と USB が同時に接続された場合、USB が優先されます。
- デジタルピアノとコンピュータを USB ケーブルで接続する場合は、まず USB ケーブルを接続してからデジタルピアノの電源を入れてください。
- デジタルピアノとコンピュータを USB 接続した場合、通信を開始するまでしばらく時間がかかることがあります。
- デジタルピアノとコンピュータをハブ経由で接続し動作が不安定な場合は、コンピュータの USB ポートに直接接続してください。
- 下記の動作中、デジタルピアノの電源オン / オフ、USB ケーブルの抜き差しを行うと、コンピュータやデジタルピアノの動作が不安定になる場合があります。
  「ドライバーのインストール中」「コンピュータの起動中」「MIDI アプリケーションが動作中」「コンピュータと通信中」「省電力モードで待機中」
- お使いのコンピュータの設定によっては、USB が正常に動作しない場合があります。ご使用になるコンピュータの取扱説明書をよくお読みの上、適切な設定を行ってください。

* “MIDI” は、社団法人音楽電子事業協会（AMEI）の登録商標です。　* Windows は、Microsoft Corporation の登録商標です。

* Macintosh および iPad は、Apple Computer.Inc. の登録商標です。

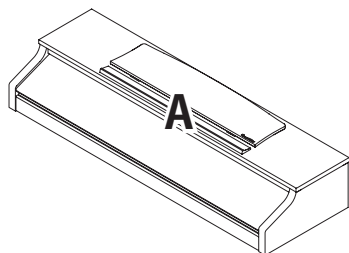
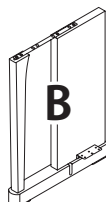
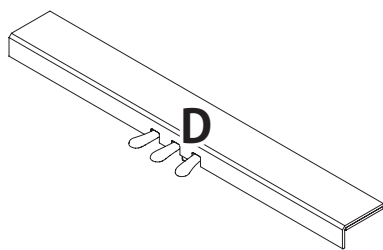
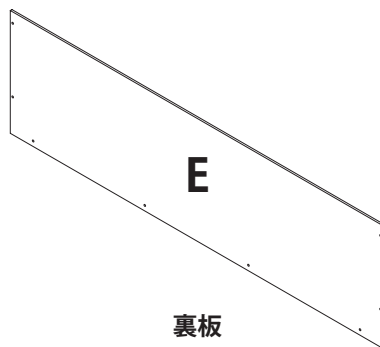
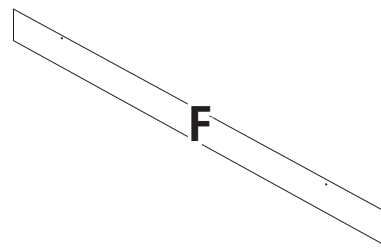
* その他、本取扱説明書に記載されている会社名および商品名は、各社の商標または登録商標です。

CA17 の組み立て方

組立作業は必ず 2 人で行ってください。
本機を移動するときは、水平に持ち上げるようにし、手をはさんだり、足の上に落とさないよう十分注意してください。

部品の確認

組み立てる前に、部品がそろっていることを確認してください。また、プラスドライバーをご用意下さい。

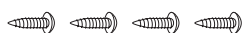
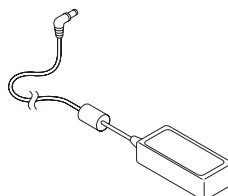
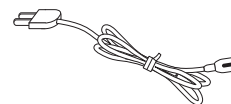
A 本体　B 側板 1　C 側板 2
D ペダル土台（アジャスター付）　E 裏板　F 下前板

ネジセット

ⓐネジ（ワッシャー付）：4 本

ⓑ先の平らな短いネジ（4 x 12mm）：2 本

ⓒ長い黒ネジ（4 x 30mm）：4 本※

ⓓ短い黒ネジ（4 x 20mm）：4 本※

ⓔ銀ネジ（4 x16mm）：4 本

※本体色がホワイトメープルの場合、黒ネジではなく、銀ネジになります。

AC アダプター　電源コード

ヘッドホンフックセット

ヘッドホンフック

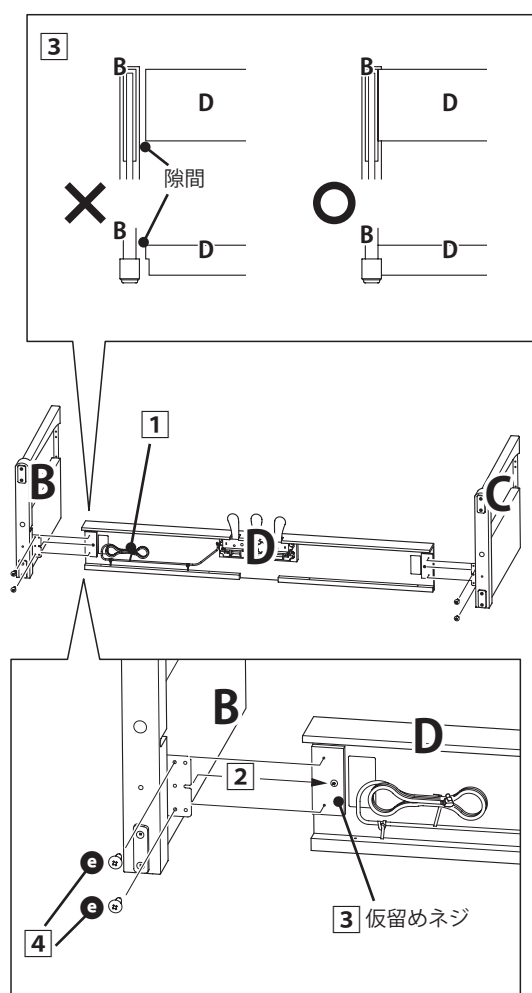
取付ネジ（4 x 14mm）：2 本

1. B・C を D に固定する

1-1
D に結ばれているペダルコード（1 箇所のみ）をほどいて、コードを引き出す。

1-2
B・C の金属の溝に、D に仮留めされているネジをはめ込む。

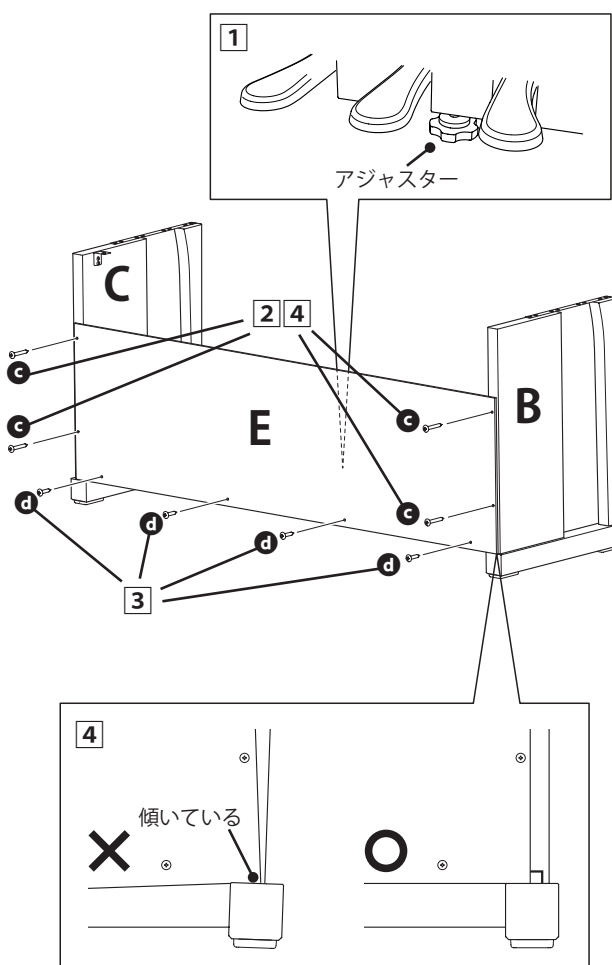
1-3
B・C と D を**ぴったりと押しあてて**仮留めネジを締める。

1-4
残りのネジ穴に ❺ 銀ネジ 4 本できつく締め固定する。

2. E を固定する

2-1
下図のようにスタンドを起こす。
このとき床に楽譜や部品がないこと、アジャスターが付いていることを確認する。

2-2
E と B・C のネジ穴の位置を合わせ、❸ 長い黒ネジ 4 本で**仮留めする**。

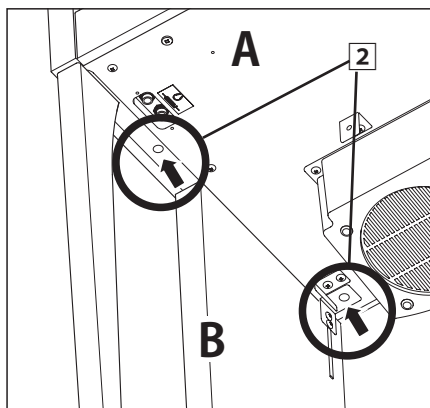
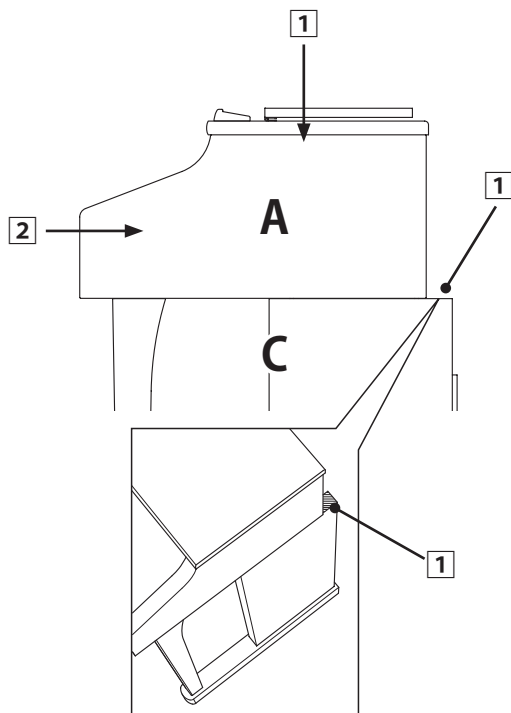
2-3
E と D のネジ穴の位置を合わせ、❹ 短い黒ネジ 4 本で固定する。

2-4
仮留めした ❸ 長い黒ネジを B・C と E に**隙間がないよう密着させて傾きがないよう締める**。

3. A を載せる

3-1
A を十分上に持ち上げ、真上から見て **B・C の後ろ側の板の上面**が見えるように上から静かに載せる。

3-2
A の底面のネジ穴と B・C の金具の穴の位置を合わせるように後ろに動かす。

ネジ穴が見えない場合は、**2-4**で締めたネジをゆるめ再調整する。

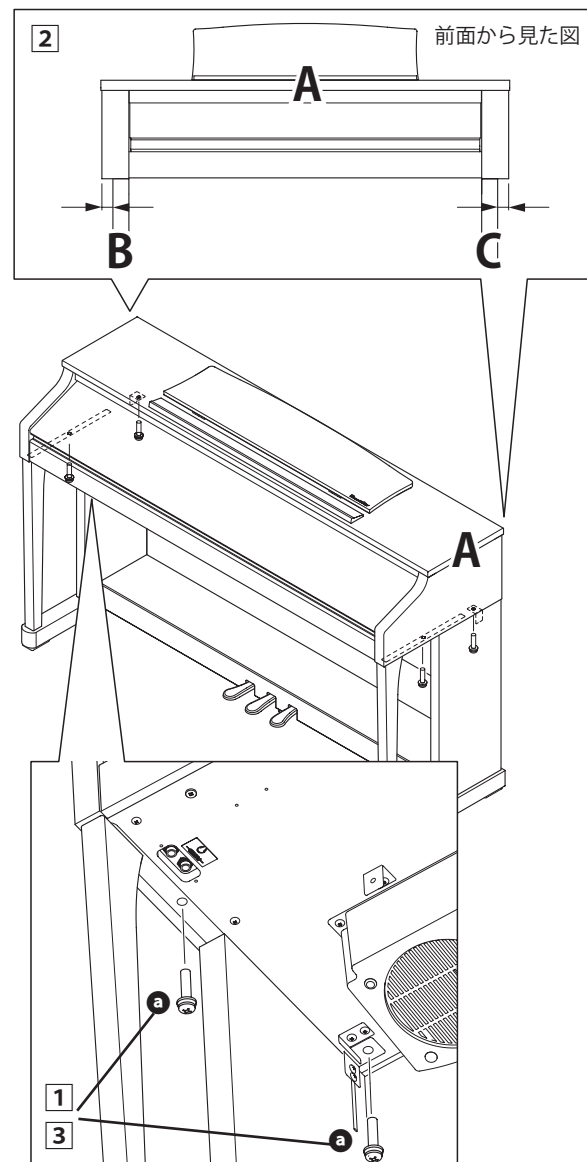
⚠ **注意**
手をはさんだり、本体を落としたりしないよう十分ご注意ください。

4. A を固定する

4-1
ⓐ ネジ 4 本をネジ穴に仮留めする。

4-2
前面から見て A の左右の張り出し部分が均等になるよう調整する。

4-3
仮留めしたネジをきつく締めて固定する。

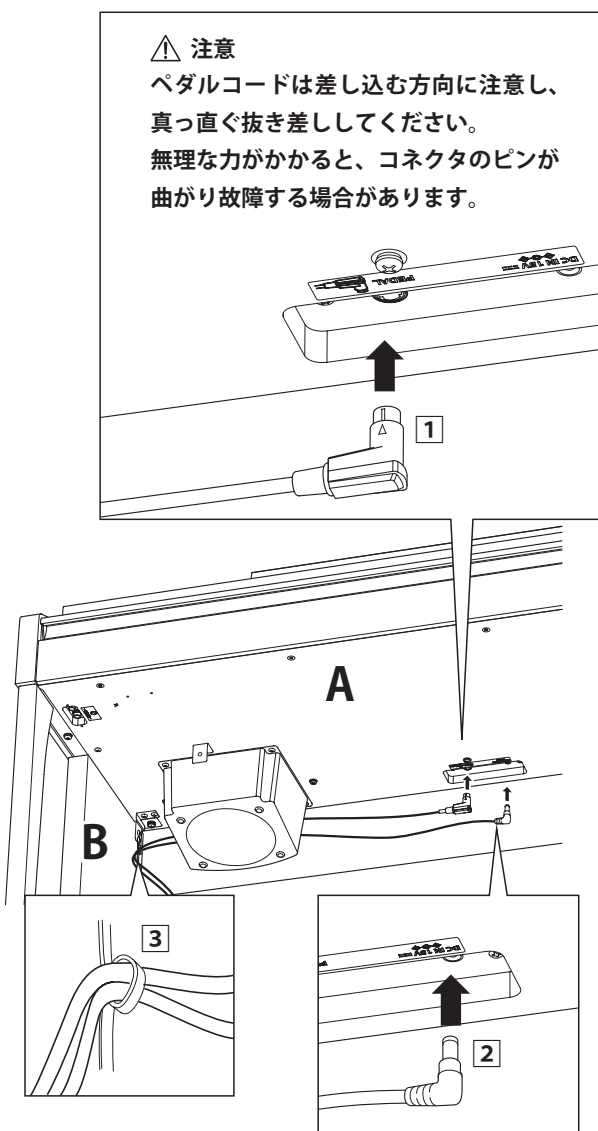
⚠ **注意**
必ず付属のネジでしっかりと固定してください。
固定しないと、本体がスタンドから落ち大変危険です。

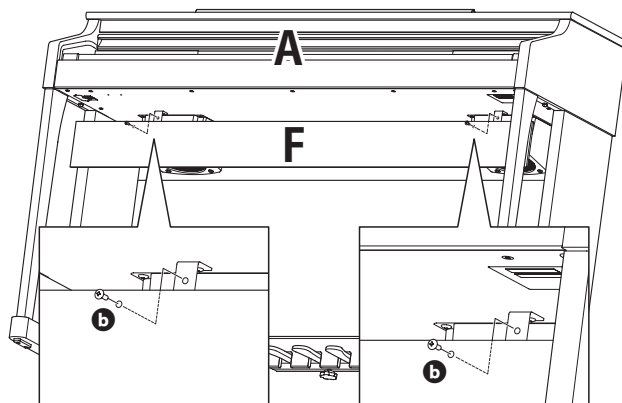
付録

5. ペダルコード・AC アダプターを接続する

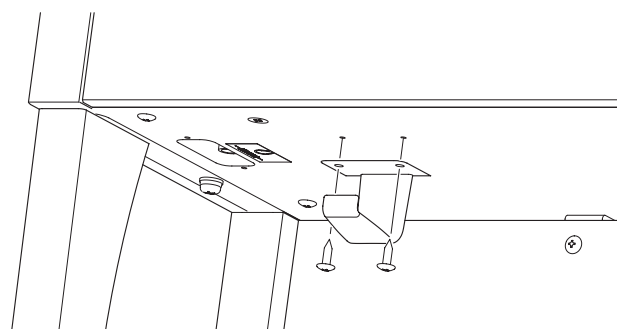
5- 1
ペダルコードを A の底面にあるペダル端子に接続する。

5- 2
AC アダプターの端子を A の底面にある DC IN 端子に接続し、AC アダプターに電源コードを接続する。

5- 3
B に付いているコードクランプでコードを固定する。

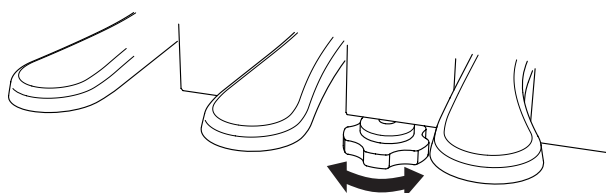
⚠ **注意**
ペダルコードは差し込む方向に注意し、真っ直ぐ抜き差ししてください。
無理な力がかかると、コネクタのピンが曲がり故障する場合があります。

6. F を取り付ける

❺先の平らな短いネジ 2 本で A の下にある金具に F を取り付ける。

7. ヘッドホンフックを取り付ける

ヘッドホンフックを同じ袋に入っているネジ 2 本で図のように取り付ける。

8. アジャスターを回す

ペダル土台の裏にあるアジャスターを、床にピッタリ付くまで回しペダル土台を補強します。

床の材質、状態によってはペダル踏み込み時に床との間で摩擦音が発生することがあります。その際はフェルトやカーペットなどを床とアジャスターの間に挟み調整してください。

⚠ **注意**
アジャスターをしっかり床につけないと、ペダル土台が壊れる恐れがあります。
なお、移動の際は引きずらないよう、必ず床から持ち上げて移動してください。

CA17 仕様

CA17 仕様

鍵盤	88 鍵　木製鍵盤　RM3 Grand Ⅱ　アイボリータッチ、レットオフフィール
同時発音数	最大 192 音（音色により異なる）
音色	19 音色　（P.16 参照）
効果	リバーブ（ルーム、ラウンジ、スモールホール、コンサートホール、ライブホール、カテドラル）
レッスン	バイエル 全 126 曲（バリエーション 20 曲を含む） ブルクミュラー 全 25 曲 チェルニー全 30 曲 （右手 / 左手個別再生可、テンポ変更可）
メトロノーム	1/4、2/4、3/4、4/4、5/4、3/8、6/8 拍子
内部レコーダー	3 ソング、総記憶音数　約 10,000 音
デモ曲	全 48 曲
コンサートマジック	全 88 曲
トランスポーズ	-12 ～ +12 半音
その他機能	サウンドプレビュー、音声アシスト、デュアル、4 ハンズ（連弾演奏）、タッチ、ボイシング、 ダンパーレゾナンス、ダンパーノイズ、ストリングレゾナンス、キーオフエフェクト、 キーアクションノイズ、ストレッチチューニング、チューニング、トランスポーズ、 ブリリアンス、スペイシャルヘッドホンサウンド、ヘッドホンタイプ、MIDI 設定機能、 スタートアップセッティング、オートパワーオフ
ペダル	ダンパー（ハーフペダル対応）、ソフト、ソステヌート
キーカバー	スライド式
外部端子	ヘッドホン（2）、MIDI（IN, OUT）、USB to HOST
出力	20W × 2
スピーカー	13cm × 2、5cm × 2
定格電圧	AC 100 V、50/60 Hz
消費電力	20W
寸法	137(W) × 46(D) × 89(H)cm　（譜面台を倒した状態）
重量	59kg
同梱品	本体 / スタンド / 高低自在椅子 / 電源コード /PS-154（AC アダプター） ヘッドホン / ヘッドホンフック / 取扱説明書（本書）/ CA17 操作ガイド スタンド組立説明書 / 保証書 / 音楽教室のご案内 / 楽譜集のご案内 コンサートマジック曲集　払込取扱票 / クラシカルピアノコレクション（楽譜集） カワイデジタルピアノユーザー登録のご案内

* 本仕様、及び同梱品につきましては改良のため、 予告なく変更することがあります。

株式会社 河合楽器製作所
電　子　楽　器　事　業　部
〒430-8665 浜松市中区寺島町200番地
TEL. 053-457-1277 / FAX. 053-457-1279
http://www.kawai.co.jp/

お問合せ先について

ご不明な点などがございましたら、下記のお客様相談室をご利用ください。

◆お客様相談室

TEL. 053-457-1311 / E-mail. customer@kawai.co.jp
電話受付時間　9：00 ～ 12：00 / 13：00 ～ 17：00
（土曜、日曜、祝日及び弊社規定の休日を除きます。）

◆お客様サポート・お問合せフォーム

http://www.kawai.co.jp の「お客様サポート」よりお進みください。

故障と思われる場合については、お買い求めいただいた販売店、もしくはお近くのフィールドサポート担当までご連絡ください。
詳細は同梱の「アフターサービスと音楽教室のご案内」の冊子をご参照ください。

本取扱説明書の一部、あるいは全部を無断で複写・転載することを禁止します。

818213
KPSZ-0763 R100
Printed in China